

学生確保の見通し等を記載した書類
(資料)

滋賀県立大学大学院 人間看護学研究科
人間看護学専攻 博士前期課程

目 次

【資料 1】文部科学省、令和 6 年、看護系大学の現状と課題·····	3
【資料 2】一般社団法人日本看護系大学協議会・一般社団法人日本私立看護系大学協会「看護系大学（国公私立）教員数に関する調査結果」·····	12
【資料 3】文部科学省、令和 5 年、看護系大学の現状と課題·····	14
【資料 4】滋賀県、滋賀県保健医療計画の概要·····	16
【資料 5】滋賀県看護職実態調査報告書·····	17
【資料 6】一般社団法人日本看護系大学協議会 2024 年度会員校（大学院一覧）·····	20
【資料 7】授業料その他の料金に関する規程·····	24
【資料 8】滋賀県内や近隣府県の看護職および看護師養成に関わる教員のニーズ調査結果·····	27

2024年度 日本看護系大学協議会 定時社員総会
日時:令和6年6月21日
場所:オンライン

看護系大学の現状と課題

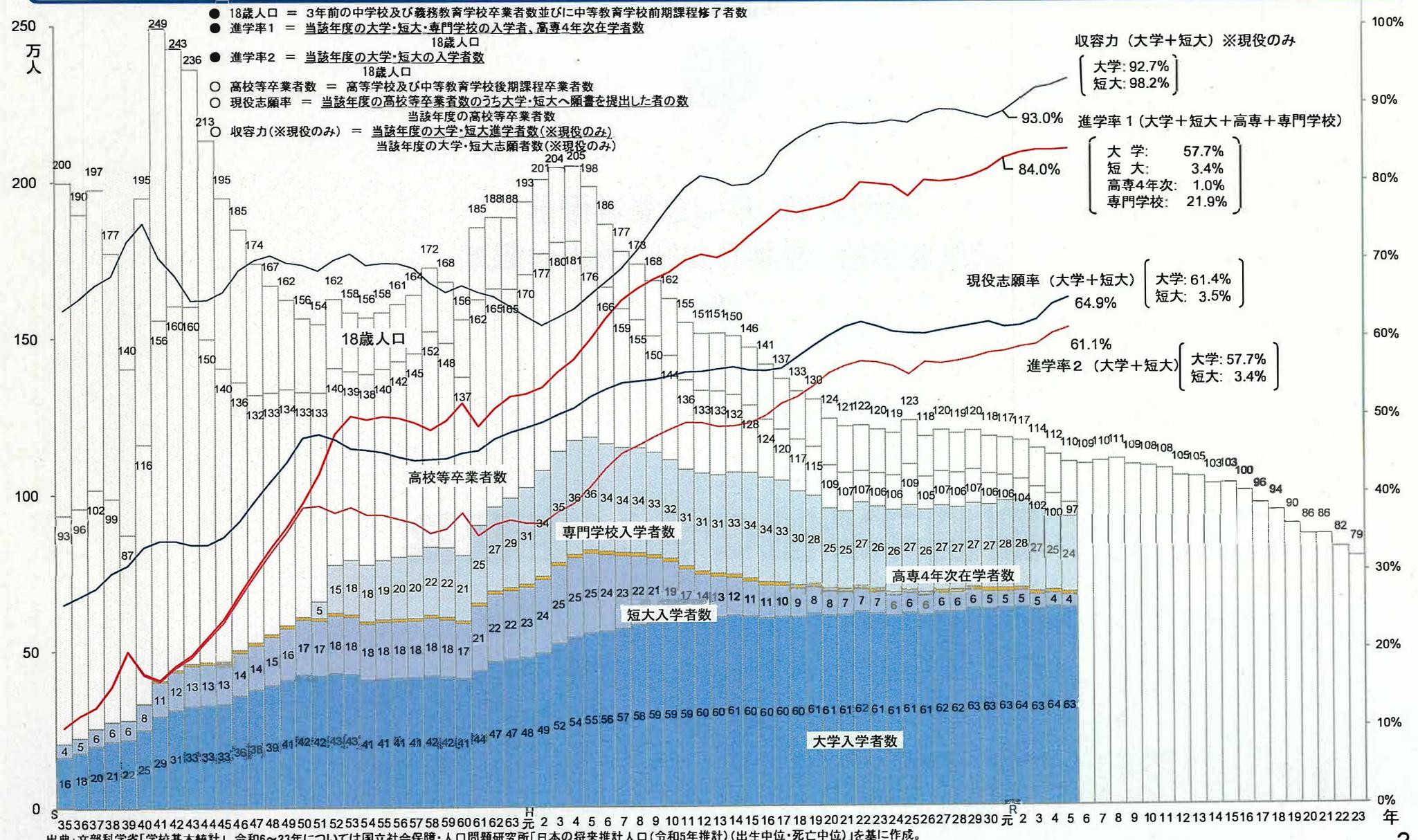


文部科学省 高等教育局 医学教育課
看護教育専門官 渡邊美和



18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移

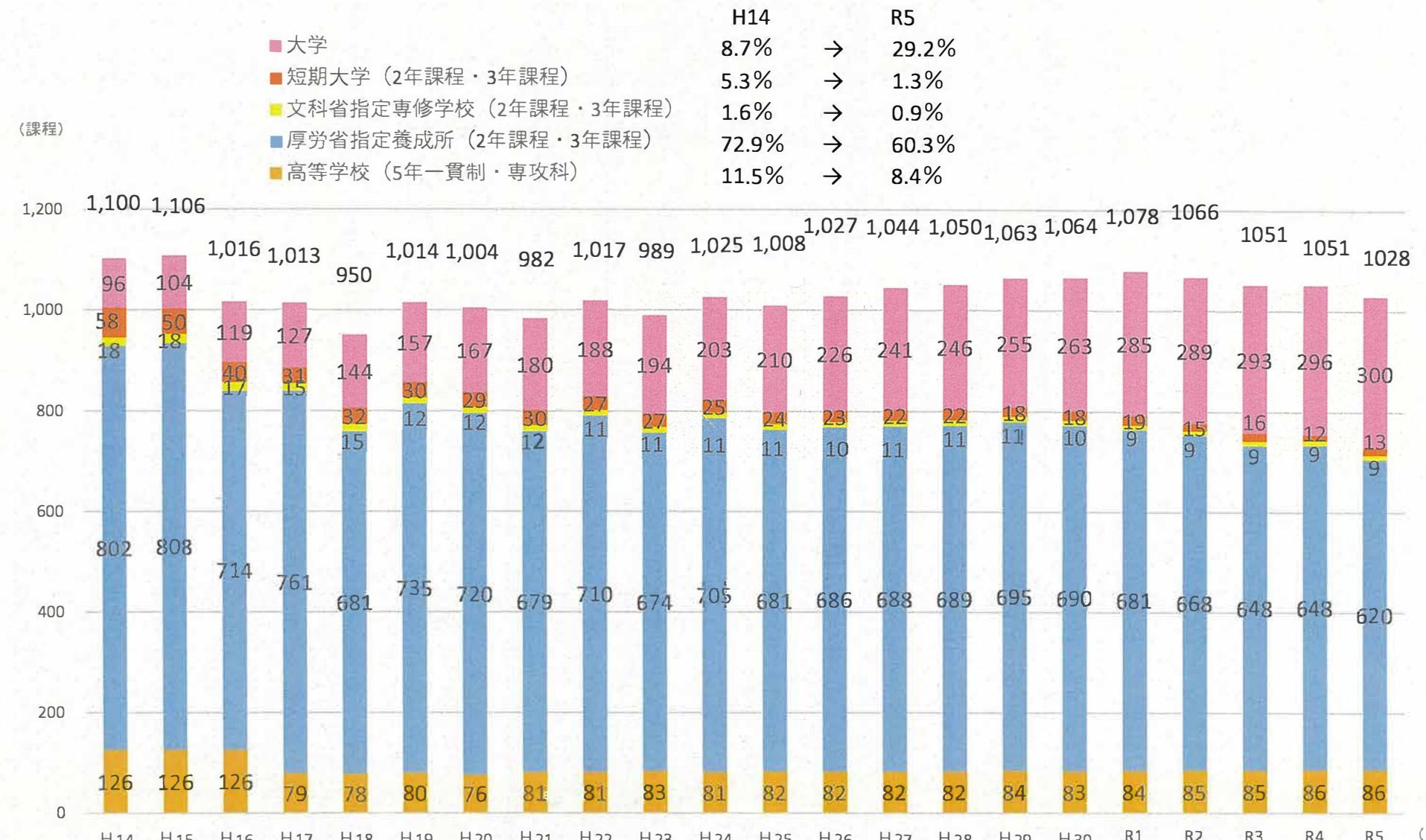
18歳人口は、ピークであった昭和41年には、約249万人であったが、令和5年には110万人にまで減少。令和23年には80万人を切ることが予測されている。高等教育機関への進学率は概ね上昇を続け、令和5年には大学のみで57.7%、全体で84.0%となっている。



出典：文部科学省「学校基本統計」。令和6～23年については国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（令和5年推計）（出生中位・死亡中位）」を基に作成。
※准拠：現状と今後について、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が一致しない場合がある。

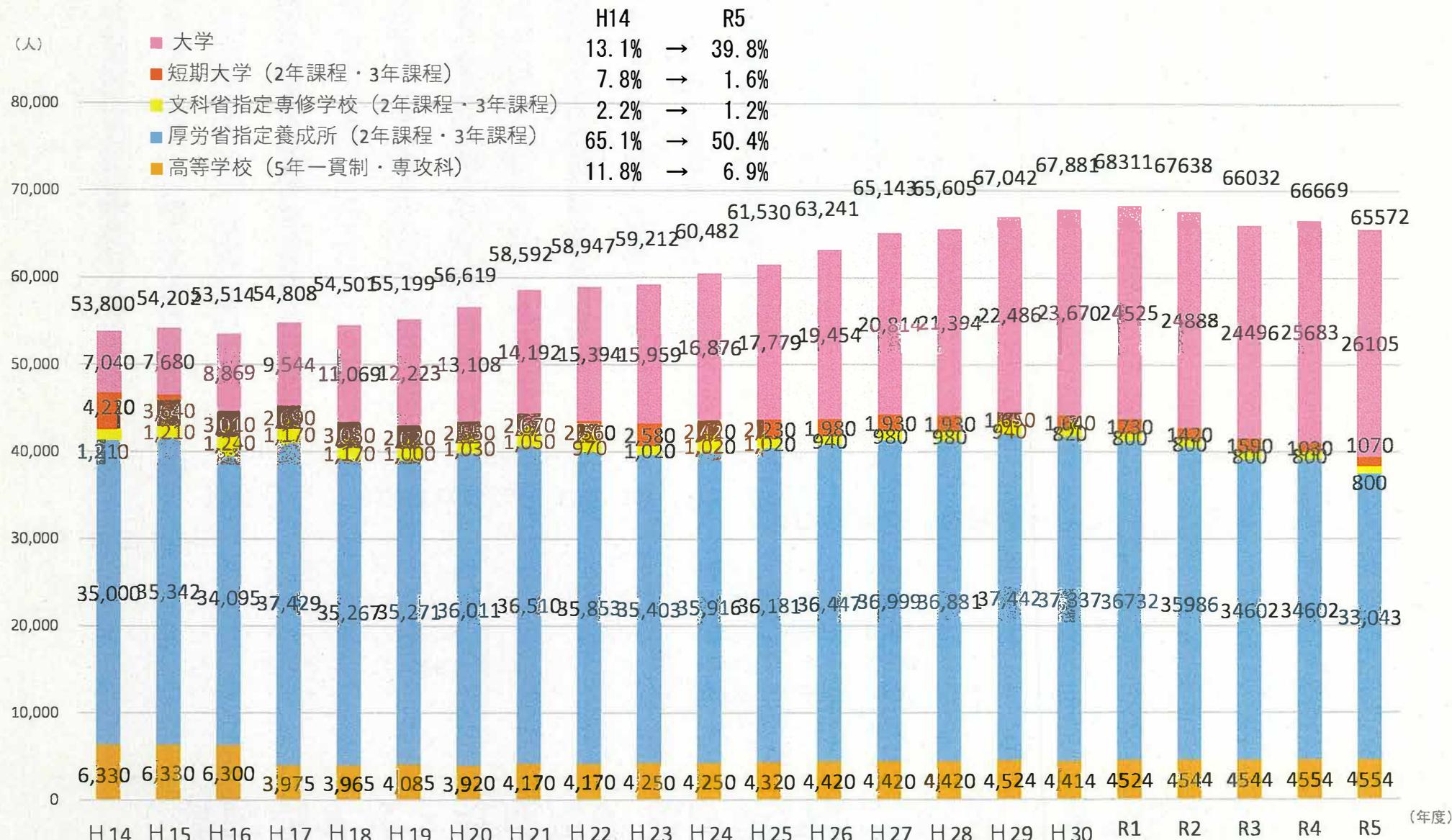
※進学率現役志願率についても、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合がある。

看護師学校・養成所の養成課程数の推移（令和5年度）

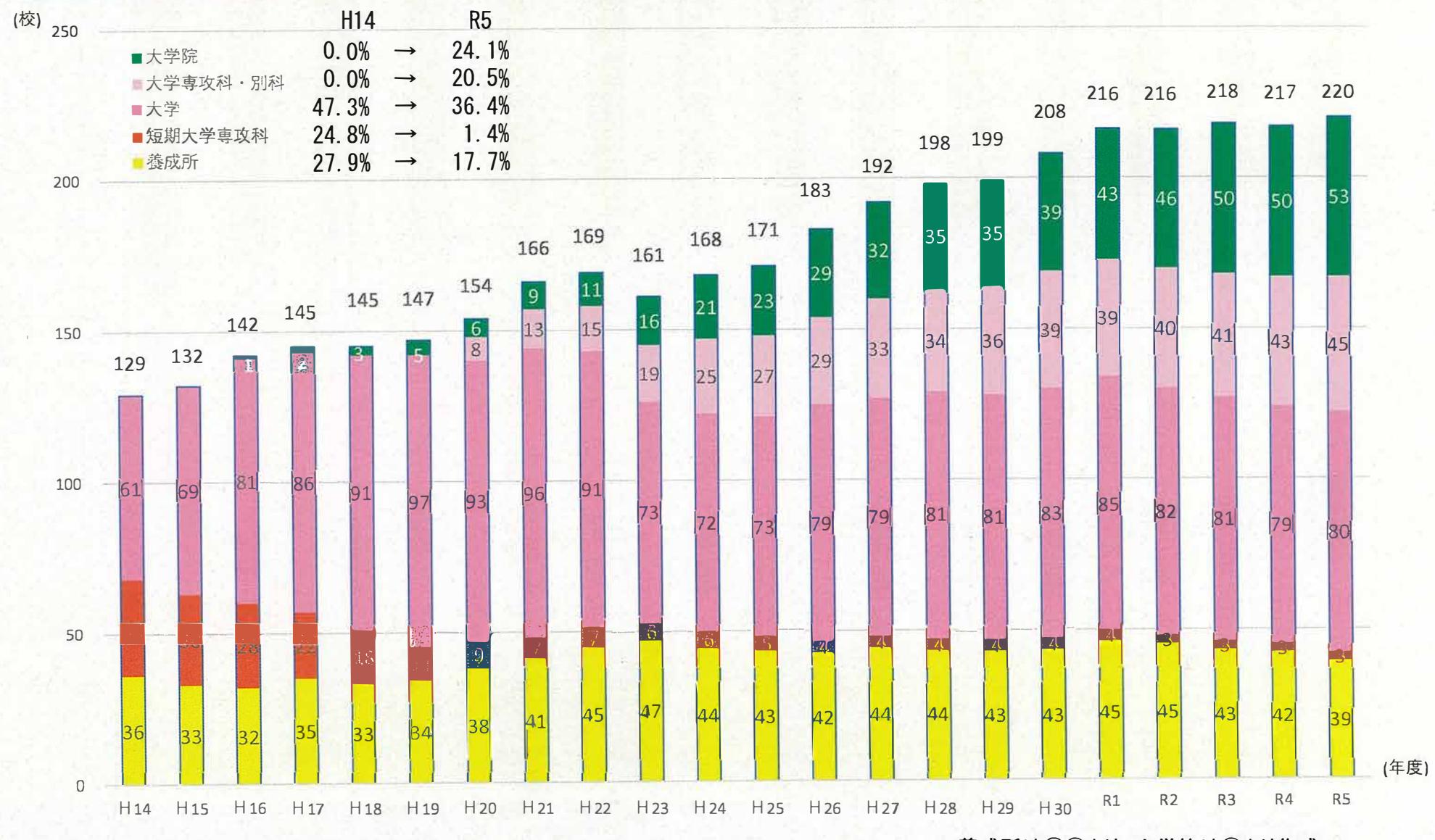


* 医療関係技術者養成学校一覧(文部科学省高等教育局医学教育課)より作成

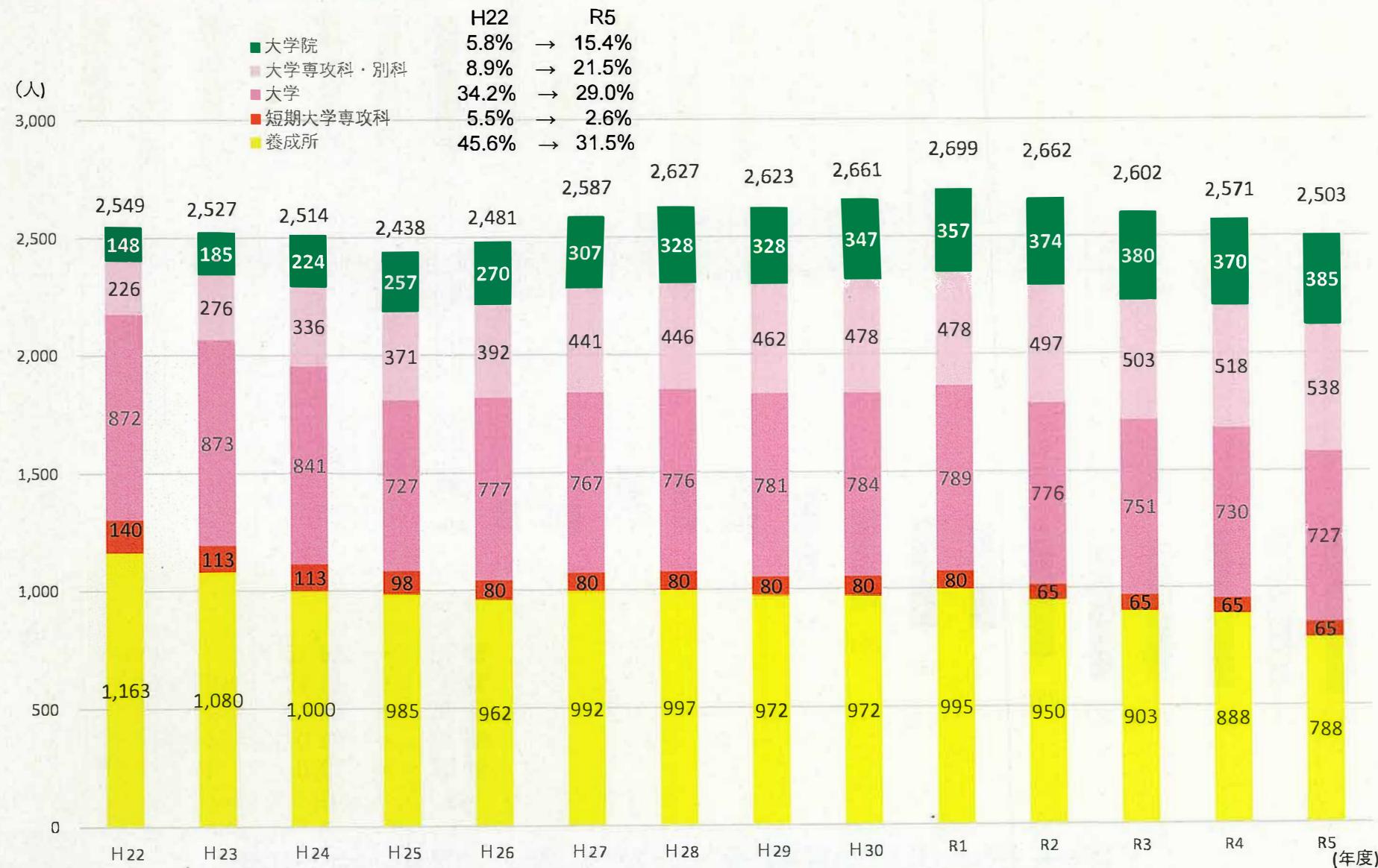
看護師学校・養成所の入学定員の推移（令和5年度）



助産師学校・養成所数の推移（令和5年度）



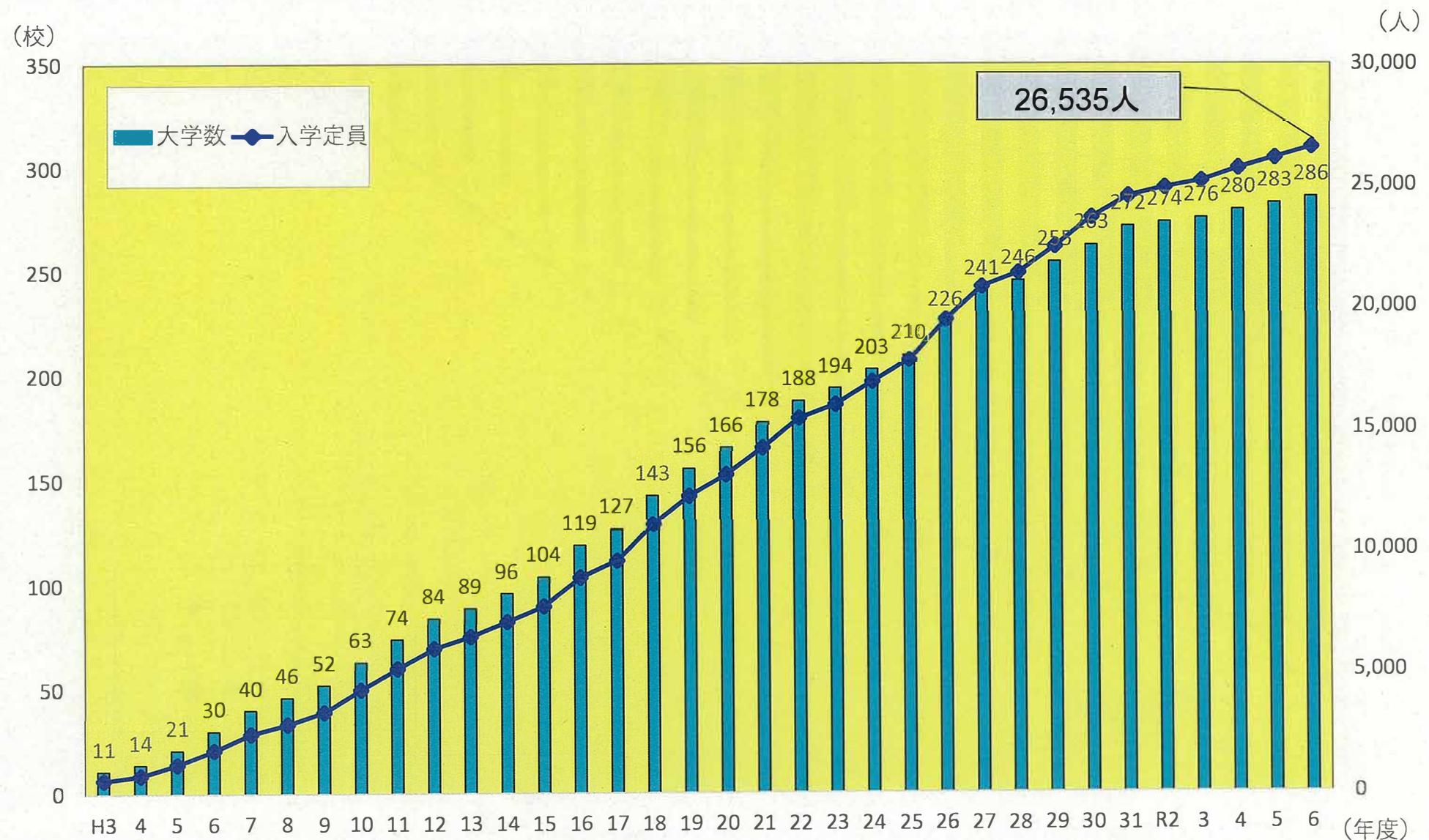
助産師学校・養成所における養成可能人数の推移（令和5年度）



養成所は①②より、大学等は②より作成

①医療関係技術者養成学校一覧(文部科学省高等教育局医学教育課) ②文部科学省高等教育局医学教育課調べ

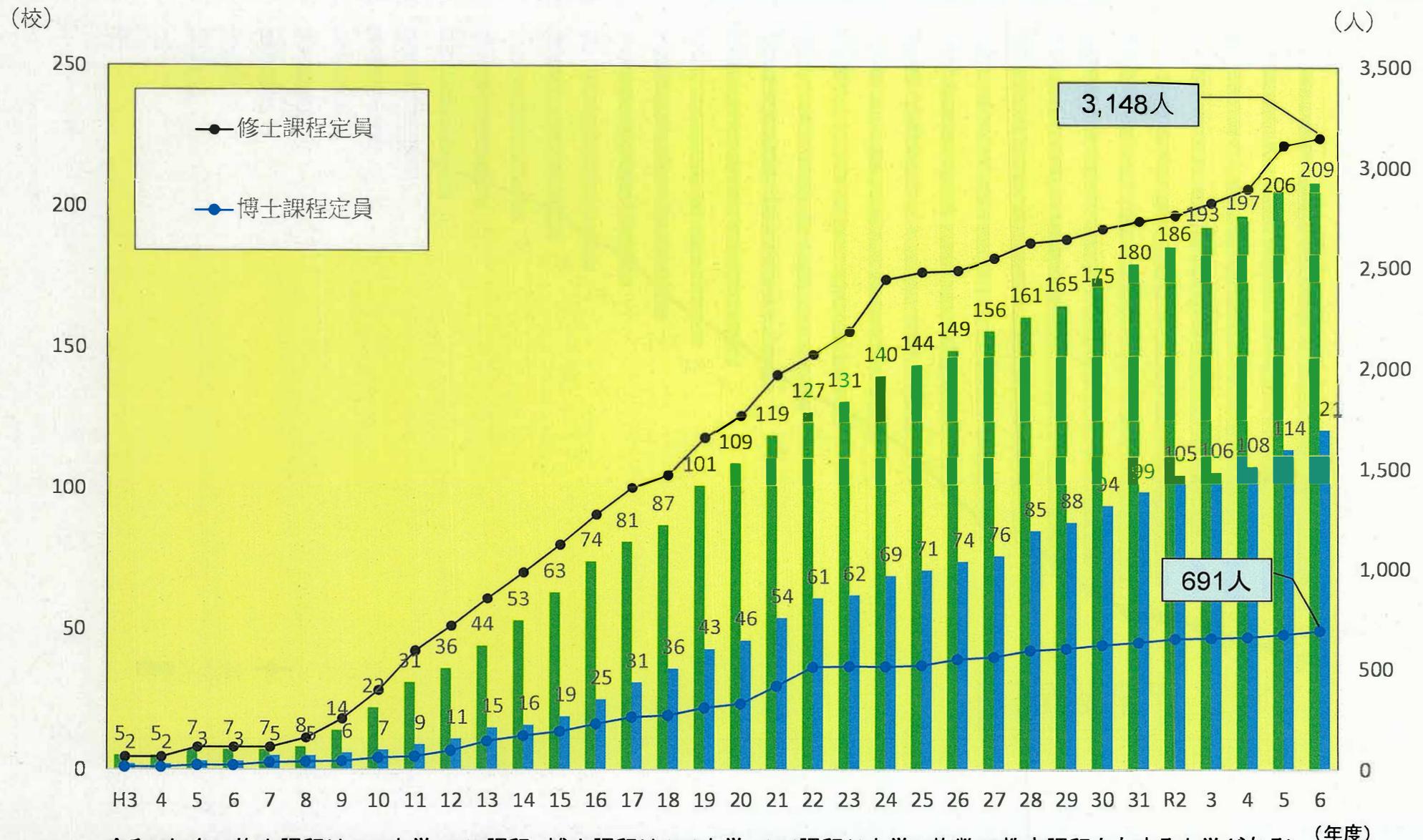
看護系大学数及び入学定員の推移（令和6年5月現在）



令和6年度の教育課程数は286大学、304課程(1大学で複数の教育課程を有する大学がある)

(文部科学省高等教育局医学教育課調べ)

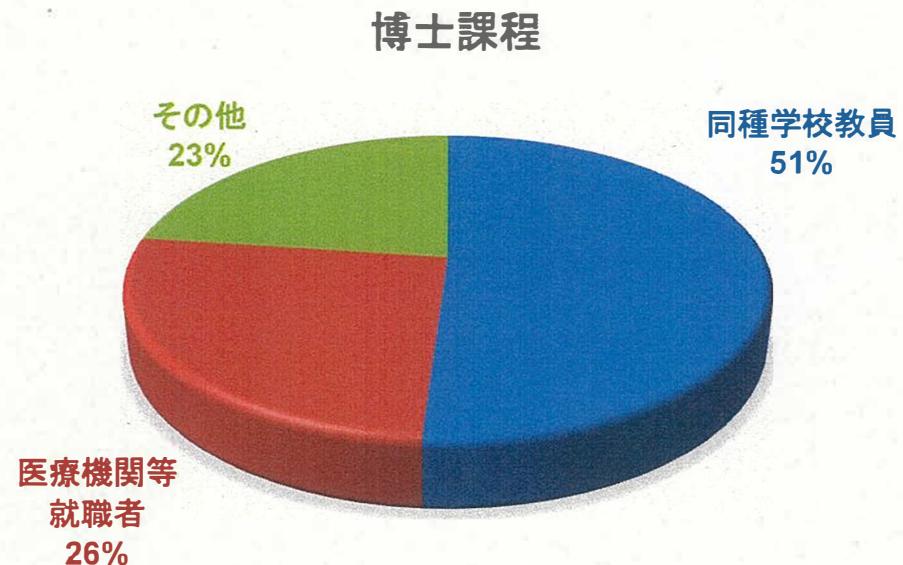
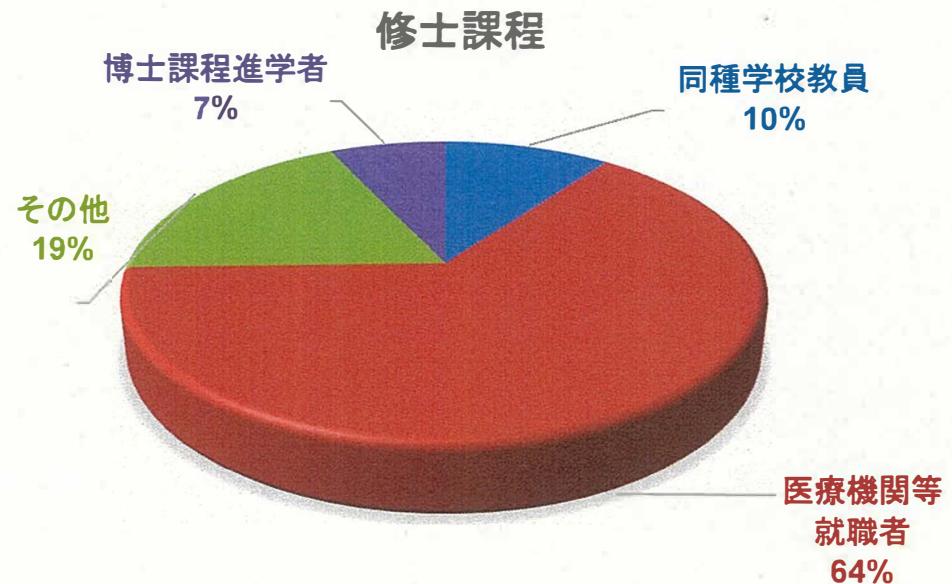
看護系大学院数及び入学定員の推移（令和6年5月現在）



令和6年度の修士課程は209大学、218課程、博士課程は121大学、124課程(1大学で複数の教育課程を有する大学がある)
注:平成16年度以後の修士課程には、専門職大学院2大学院(入学定員計60名)を含む。

(文部科学省高等教育局医学教育課調べ)

看護系大学院修了者の進路状況（令和5年度修了生）



	課程数	修了者数
国立	35	600
公立	38	330
私立	95	662

	課程数	修了者数
国立	26	183
公立	30	51
私立	46	107

看護系大学（国公私立）教員数に関する調査結果

一般社団法人日本看護系大学協議会

データベース委員会

一般社団法人日本私立看護系大学協会

大学運営・経営委員会

I. 調査方法

1. 対象：日本看護系大学協議会と日本私立看護系大学協会の会員校 292 校

2. データ収集方法：グーグルフォームを用いた Web 調査

3. 調査期間：2021 年 9 月 30 日～10 月 15 日

回答数：204 校 (国立・省庁大学校 n=25、公立 n=45、私立 n=134)

回収率：69.9% (国立・省庁大学校 56.8%、公立 90.0%、私立 67.7%)

II. 調査結果

1. 大学の設置主体

表 1 大学の設置主体 n=204

設置主体	大学数 (%)
国立大学 (省庁大学校含む)	25 (12.3%)
公立大学	45 (22.1%)
私立大学	134 (65.7%)

2. 大学の所属の主体

表 2 大学の所属の主体 n=196

所属の主体	大学数(%)
大学院に所属し、学部は兼任である	19 (9.7%)
学部に所属し、大学院は兼任である	137 (69.9%)
学部のみ	35 (17.9%)
その他	5 (2.6%)
無回答	1 (2.3%)

3. 過去 6 年間の教員定数減少の有無

表 3 過去 6 年間の教員定数減少の有無

全数 (n=203)		設置主体別					
		国立 (n=25)		公立 (n=45)		私立 (n=133)	
有	無	有	無	有	無	有	無
49	154	18	7	6	39	25	108
24.1%	75.9%	72.0%	28.0%	13.3%	86.7%	18.8%	81.2%

4. 3で「有」と回答した大学が、その理由として把握していること

表4 過去6年間の教員定数減少「有」の大学の減少理由（複数回答）

教員定数減少の理由	回答総数 59(件)	設置主体別		
		国立(n=25)	公立(n=45)	私立(n=133)
大学の方針により減少となった	31 (52.5%)	16 (64.0%)	3 (6.7%)	12 (9.0%)
経営上の課題から定員が減らされた	11 (18.6%)	5 (20.0%)	0 (0.0%)	6 (4.5%)
学部再編成等で定員が調整された	6 (10.2%)	2 (8.0%)	0 (0.0%)	4 (3.0%)
その他*	11 (18.6%)	0 (0.0%)	3 (6.7%)	8 (6.0%)

「その他*」に記述されていた意見

【公立大学】

- ・大学院設置のために増員していたが、完成年度や自己都合等により退職があり退職者数と同じ採用がないため
- ・特任枠として借りていたのを返却したため
- ・法人化に伴って定数という考え方が多くなり、法人独自で決めるようになった

【私立大学】

- ・他大学への移動など
- ・教員審査に伴う人材が集まらなかつた
- ・1名退職により、減となった。
- ・退職による定員不足
- ・教員異動後の人員確保について困難がある
- ・退職者の補充が間にあわなかつた
- ・公募をかけるが、大学院人事との関係で教員人事が上手く進まず欠員を非常勤で補っている。
- ・定員という概念がなく、大学院設置で教員数が増えたが、看護系教員は減少した。

5. 過去6年間に、当該年度の4月1日時点で教員定数を充足できなかったことの有無

表5 当該年度の4月1日時点で教員定数の未充足の有無（過去6年間）

全数(n=203)		設置主体別					
		国立(n=25)		公立(n=45)		私立(n=133)	
有	無	有	無	有	無	有	無
164	39	21	4	40	5	103	30
80.8%	19.2%	84.0%	16.0%	88.9%	11.1%	77.4%	22.6%

2023年度 日本看護系大学協議会 定時社員総会
日時：令和5年6月30日
場所：オンライン

看護系大学の現状と課題

文部科学省 高等教育局 医学教育課
看護教育専門官 渡邊美和

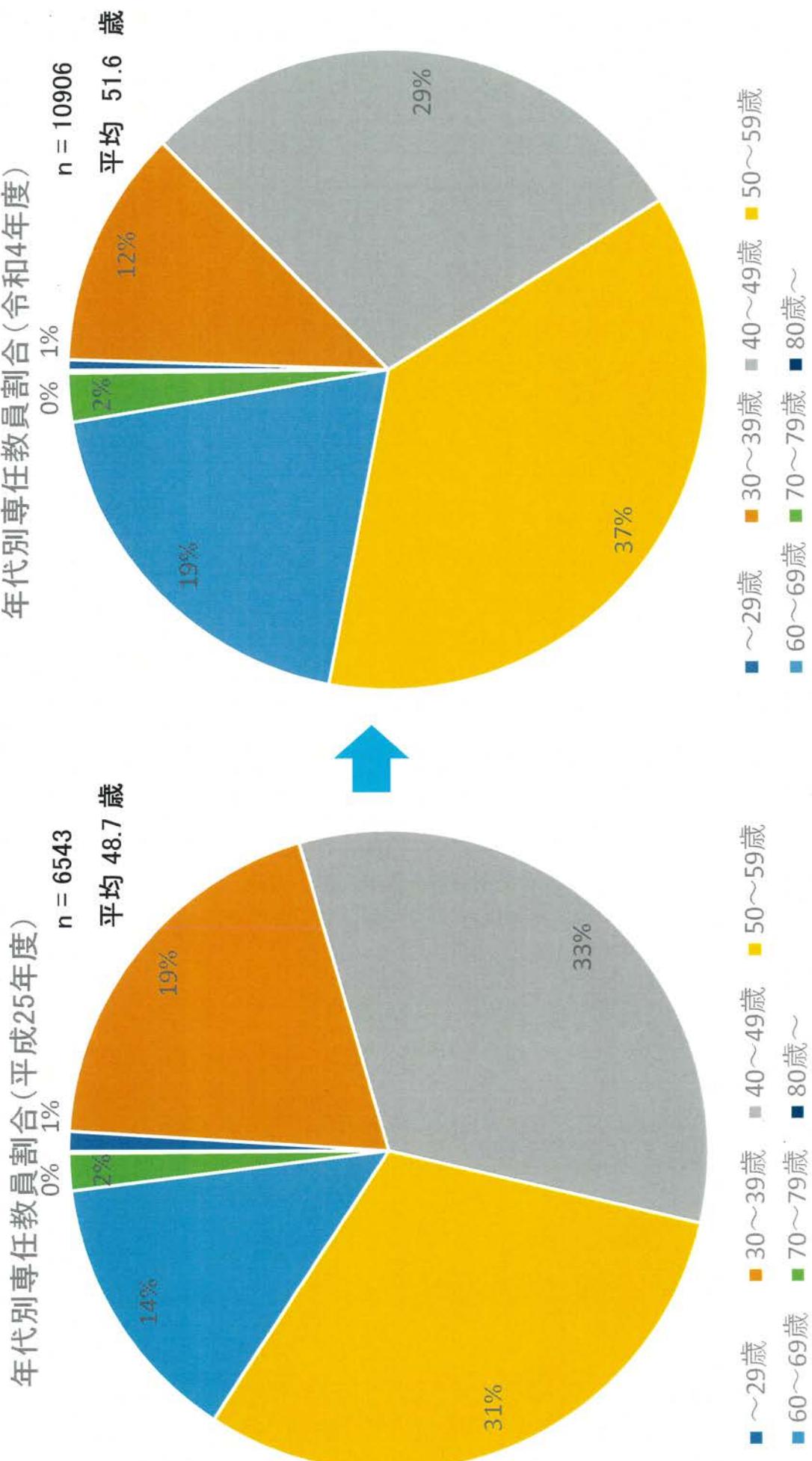


文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

看護系大学の専任教員の年齢



滋賀県保健医療計画の概要

「計画期間」令和6年度～令和11年度



前回計画の期間の満了を迎えることから、社会環境の変化や国の動き等を踏まえ、今後の医療福祉提供体制の方針を検討し、県民のニーズに応じてしっかりと、保健・医療・福祉が一体となって生活を支える「医療福祉」の仕組みづくりを目指して、「滋賀県保健医療計画」の改定を行う。

IV 計画の概要

基本理念

- ① 誰もがそれぞれの地域で
自分らしく健康的に暮らしており、
健康寿命が延びている

- ② 切り目なく必要な医療福祉を受けることができる
③ どこにいても、生まれる前から看取りまで、
地域における人材が充実し、
医療福祉における体制が整備されている

- ④ 新型コロナウイルス感染症対応の教訓を踏まえ、6事業目として、「新興感染症発生・まん延時の医療・福祉体制の充実強化計画」による施設の整理や指標の設定を行う。(その他の分野においても、ロジックモデルにより施策と目標を可視化する。)

計画で目指す3つの姿

主な疾病・事業にかかる施策の改定ポイント(●は特に「こども・こども・関連」)

【①健康づくりと介護予防】

○新型コロナウイルス感染症対応の教訓を踏まえ、「新興感染症発生・まん延時の医療・福祉体制の充実強化計画」による施設の整理や指標の設定を行う。(その他の分野においても、ロジックモデルにより施策と目標を可視化する。)

【⑤精神疾患】

○多様な精神疾患等に対応できる連携体制の構築(入院者への訪問支援、精神科病院における虐待通報窓口の設置)

○規模災害時の精神保健ニーズに対応できる体制の構築(災害拠点精神科病院の新規指定)

【⑨間接期医療】

●周産期医療体制充実・強化(周産期医療協議会で具体的な取組を実施)・災害時周産期医療体制の構築

【⑩へき地医療】

●(新)新興感染症発生・まん延時の医療

○へき地における医療・医師の確保・入院体制(病床の確保)・外来診療体制(発熱外来医療機関の確保)・自宅看護者等への医療提供体制(病院、診療所、薬局、訪問看護事業所の確保)

【⑪在宅医療】

●切れ目ない入退院支援(病院外来と地域の支援者との連携充美等)

○急変時やむの最後をを迎えることができる対応体制の整備

【⑫災害医療】

○地域における救急医療機関の機能分化と連携の推進

○救急医療における医師の確保・養成、病院前救護体制の強化

【⑬災害医療】

○医療機関の適正受診の推進(救急安心センター事業の推進等)

○災害対応病院の体制強化

【⑭災害対策】

○災害時に活動できる人材の確保(災害乗事コーディネーターの確保・災害対策の体制強化)

○災害時に活動できる人材の確保(協定の締結等)

【⑮小児医療】

●(一般)小児・小児急救

○適切な小児医療の提供(課題共有のための協議会の開催等)

【⑯小児在宅医療】

●小児医療に関する問題設定の見直し(4プロトコル化)

○医療機器の稼働状況の把握・報告

【⑰精神保健福祉士】

○具体的な数値目標の検討

【⑱在宅医療】

○成人期を見据えた医療・自立支援を受けられる体制整備

【⑲患者・利用者を支える人材の確保・育成】

●患者本位のがん医療の実現

【⑳脳卒中・心筋梗塞等の心血管疾患】

○早期・専門的な治療が可能な連携体制の構築

【㉑糖尿病】

●小児糖尿病に関する問題設定の見直し(4プロトコル化)

【㉒小児・障害児(者)】

○多機関連携・病診連携を含む他科連携による重症化予防対策の推進(治療と仕事の両立のための支援等)

【㉓乳幼児】

○地域医療構築

【㉔第1章 健康づくりと介護予防への支援

○市町が行う地域づくりによる介護予防への支援

【㉕第2章 地域医療構築

○患者本位のがん医療の実現

【㉖第3章 疾病・事業ごとの医療福祉体制

○早期・専門的な治療が可能な連携体制の構築

【㉗第4章 健康危機管理の充実】

●1がん以外2臓器移植/3心筋梗塞等の心血管疾患

【㉘第5章 安全・安心な医療福沢の提供】

●4糖尿病・5精神疾患・6救急医療・7災害医療

【㉙第6章 計画の推進】

●8小児医療・9周産期医療・10へき地医療

【㉚第7章 推進体制および評価】

●11新興感染症発生・まん延時の医療

【㉛第8章 在宅医療】

●12在宅医療・13認知症・14慢長腎臓病/15難病

【㉜第9章 アレルギー疾患・17感染症・18その他の疾患

●19臓器移植・骨髄移植/20リハビリテーション

【㉝第10章 障害保健医療福祉】

●22薬事保健衛生

【㉞第11章 健康管理】

●23安心な医療福沢の提供

【㉟第12章 第6章 計画の推進】

●24安心な医療福沢の提供

【㉞第13章 第6章 計画の推進】

●25安心な医療福沢の提供

【㉞第14章 第6章 計画の推進】

●26安心な医療福沢の提供

【㉞第15章 第6章 計画の推進】

●27安心な医療福沢の提供

【㉞第16章 第6章 計画の推進】

●28安心な医療福沢の提供

【㉞第17章 第6章 計画の推進】

●29安心な医療福沢の提供

【㉞第18章 第6章 計画の推進】

●30安心な医療福沢の提供

【㉞第19章 第6章 計画の推進】

●31安心な医療福沢の提供

【㉞第20章 第6章 計画の推進】

●32安心な医療福沢の提供

【㉞第21章 第6章 計画の推進】

●33安心な医療福沢の提供

【㉞第22章 第6章 計画の推進】

●34安心な医療福沢の提供

【㉞第23章 第6章 計画の推進】

●35安心な医療福沢の提供

【㉞第24章 第6章 計画の推進】

●36安心な医療福沢の提供

【㉞第25章 第6章 計画の推進】

●37安心な医療福沢の提供

【㉞第26章 第6章 計画の推進】

●38安心な医療福沢の提供

【㉞第27章 第6章 計画の推進】

●39安心な医療福沢の提供

【㉞第28章 第6章 計画の推進】

●40安心な医療福沢の提供

【㉞第29章 第6章 計画の推進】

●41安心な医療福沢の提供

【㉞第30章 第6章 計画の推進】

●42安心な医療福沢の提供

【㉞第31章 第6章 計画の推進】

●43安心な医療福沢の提供

【㉞第32章 第6章 計画の推進】

●44安心な医療福沢の提供

【㉞第33章 第6章 計画の推進】

●45安心な医療福沢の提供

【㉞第34章 第6章 計画の推進】

●46安心な医療福沢の提供

【㉞第35章 第6章 計画の推進】

●47安心な医療福沢の提供

【㉞第36章 第6章 計画の推進】

●48安心な医療福沢の提供

【㉞第37章 第6章 計画の推進】

●49安心な医療福沢の提供

【㉞第38章 第6章 計画の推進】

●50安心な医療福沢の提供

【㉞第39章 第6章 計画の推進】

●51安心な医療福沢の提供

【㉞第40章 第6章 計画の推進】

●52安心な医療福沢の提供

【㉞第41章 第6章 計画の推進】

●53安心な医療福沢の提供

【㉞第42章 第6章 計画の推進】

●54安心な医療福沢の提供

【㉞第43章 第6章 計画の推進】

●55安心な医療福沢の提供

【㉞第44章 第6章 計画の推進】

●56安心な医療福沢の提供

【㉞第45章 第6章 計画の推進】

●57安心な医療福沢の提供

【㉞第46章 第6章 計画の推進】

●58安心な医療福沢の提供

【㉞第47章 第6章 計画の推進】

●59安心な医療福沢の提供

【㉞第48章 第6章 計画の推進】

●60安心な医療福沢の提供

【㉞第49章 第6章 計画の推進】

●61安心な医療福沢の提供

【㉞第50章 第6章 計画の推進】

●62安心な医療福沢の提供

【㉞第51章 第6章 計画の推進】

●63安心な医療福沢の提供

【㉞第52章 第6章 計画の推進】

●64安心な医療福沢の提供

【㉞第53章 第6章 計画の推進】

●65安心な医療福沢の提供

【㉞第54章 第6章 計画の推進】

●66安心な医療福沢の提供

【㉞第55章 第6章 計画の推進】

●67安心な医療福沢の提供

【㉞第56章 第6章 計画の推進】

●68安心な医療福沢の提供

【㉞第57章 第6章 計画の推進】

●69安心な医療福沢の提供

【㉞第58章 第6章 計画の推進】

●70安心な医療福沢の提供

【㉞第59章 第6章 計画の推進】

●71安心な医療福沢の提供

【㉞第60章 第6章 計画の推進】

●72安心な医療福沢の提供

【㉞第61章 第6章 計画の推進】

●73安心な医療福沢の提供

【㉞第62章 第6章 計画の推進】

●74安心な医療福沢の提供

【㉞第63章 第6章 計画の推進】

●75安心な医療福沢の提供

【㉞第64章 第6章 計画の推進】

●76安心な医療福沢の提供

【㉞第65章 第6章 計画の推進】

●77安心な医療福沢の提供

【㉞第66章 第6章 計画の推進】

●78安心な医療福沢の提供

【㉞第67章 第6章 計画の推進】

●79安心な医療福沢の提供

【㉞第68章 第6章 計画の推進】

●80安心な医療福沢の提供

【㉞第69章 第6章 計画の推進】

●81安心な医療福沢の提供

【㉞第70章 第6章 計画の推進】

●82安心な医療福沢の提供

【㉞第71章 第6章 計画の推進】

●83安心な医療福沢の提供

【㉞第72章 第6章 計画の推進】

●84安心な医療福沢の提供

【㉞第73章 第6章 計画の推進】

●85安心な医療福沢の提供

【㉞第74章 第6章 計画の推進】

●86安心な医療福沢の提供

【㉞第75章 第6章 計画の推進】

●87安心な医療福沢の提供

【㉞第76章 第6章 計画の推進】

●88安心な医療福沢の提供

【㉞第77章 第6章 計画の推進】

●89安心な医療福沢の提供

【㉞第78章 第6章 計画の推進】

●90安心な医療福沢の提供

【㉞第79章 第6章 計画の推進】

●91安心な医療福沢の提供

【㉞第80章 第6章 計画の推進】

●92安心な医療福沢の提供

【㉞第81章 第6章 計画の推進】

●93安心な医療福沢の提供

【㉞第82章 第6章 計画の推進】

●94安心な医療福沢の提供

【㉞第8

滋賀県看護職実態調査

報告書

令和5年3月
滋賀県

I 調査概要

(1) 調査目的

看護職の労働環境や自己研さん等の実態、今後の就業意向や離職・復職、看護職の魅力に関することなど、幅広く実態を調査・分析し、今後の看護職の安定的な確保に向けた取組に繋げることを目的とする。

(2) 調査設計

①調査地域：滋賀県全域

②調査対象

調査の種類	調査の対象
[1] 現役看護職員調査	県内の医療機関等に勤務する看護職（看護師・准看護師・助産師）
[2] 現役看護管理者調査	県内の病院の看護管理者および訪問看護ステーションの管理者
[3] 看護補助者調査	県内の病院に勤務する看護補助者
[4] 保健師調査	県内の行政機関（県・市町）や企業で勤務する保健師
[5] 看護教員調査	県内の看護師等学校養成所（看護系大学・専門学校）に勤務する看護教員
[6] 看護学生調査	県内の看護師養成学校養成所（看護系大学・専門学校）に在学する看護学生
[7] 潜在看護職調査	eナースセンターに登録がある県内在住の看護職未就業者等

③調査方法：郵送調査・インターネット調査

④調査期間：令和4年11月11日（金）から令和4年12月16日（金）

(3) 回収状況

区分	対象者数	有効回答数	回収率
[1] 現役看護職員調査	16,328人	7,748件	47.5%
[2] 現役看護管理者調査	218人	158件	72.5%
[3] 看護補助者調査	2,107人	1,486件	70.5%
[4] 保健師調査	673人	402件	59.7%
[5] 看護教員調査	232人	134件	57.8%
[6] 看護学生調査	1,940人	1,072件	55.3%
[7] 潜在看護職調査	417人	144件	34.5%
合計	21,915人	11,144件	50.9%

(4) 調査協力者

本調査の集計・分析等にあたり、下記の学識経験者の協力を得て実施した。

伊藤美樹子様（滋賀医科大学 教授）

(5) 調査結果の見方

①回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示し、小数点第2位を四捨五入した。
(比率の合計が100.0%にならない場合がある。)

②図表上の「MA%」という表記は複数回答（Multiple Answer の略）の、また、「LA%」という表記は制限つき複数回答（Limited Answer の略）の意味である。

③順位を聞く設問では、各順位での「無回答」の割合を非表示としている。

④コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。

⑤図表において、回答選択肢を簡略化して表記している場合がある。

問5 取得済および取得見込みの免許・資格

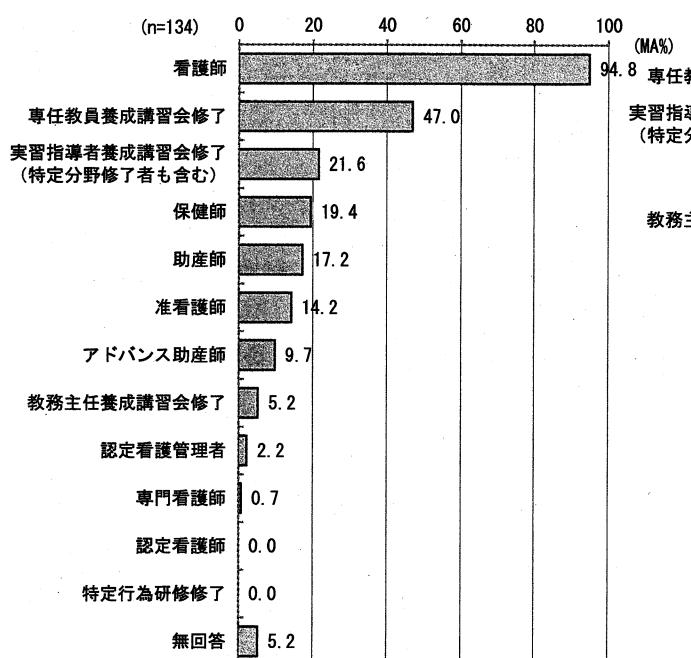
以下の免許のうち、取得しているものおよび取得見込みのものを全て選択してください。

(複数回答)

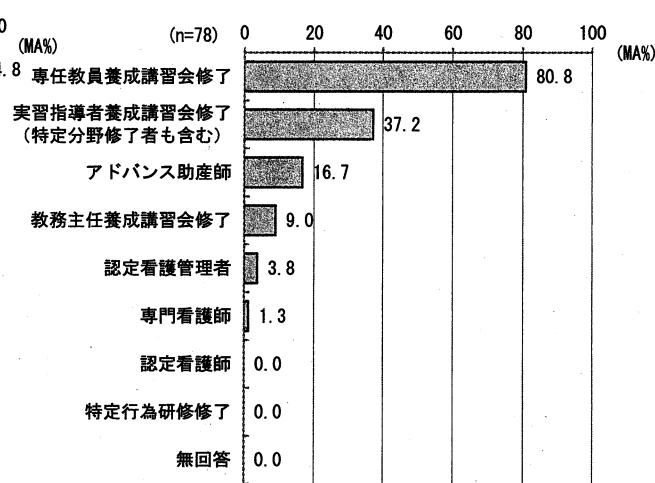
取得済および取得見込みの免許・資格は、「看護師」が94.8%と最も多く、次いで、「専任教員養成講習会修了」が47.0%、「実習指導者養成講習会修了（特定分野修了者も含む）」が21.6%となっている。

また、看護職（看護師、准看護師、保健師、助産師）以外の免許・資格についてみると、「専任教員養成講習会修了」が80.8%、「実習指導者養成講習会修了（特定分野修了者も含む）」が37.2%、「アドバンス助産師」が16.7%となっている。

【全ての免許・資格】



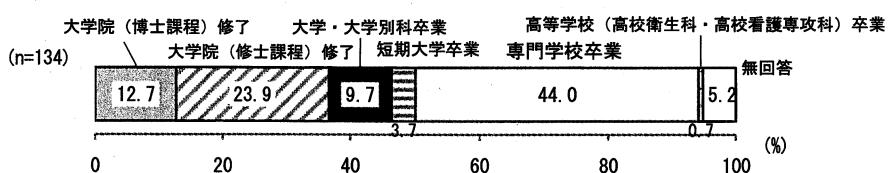
【看護職以外の資格】



問6 看護に関する最終学歴

看護に関する最終学歴について、該当するものを選択してください。（単一回答）

看護に関する最終学歴は、「専門学校卒業」が44.0%と最も多く、次いで、「大学院（修士課程）修了」が23.9%、「大学院（博士課程）修了」が12.7%となっている。



問7 看護職通算経験年数

看護職通算経験年数について、該当するものを選択してください。（単一回答）

看護職通算経験年数は、「20年以上30年未満」が29.9%と最も多く、次いで、「10年以上20年未満」が25.4%、「30年以上」が20.1%となっている。



一般社団法人 日本看護系大学協議会 2024年度会員校(大学院一覧)

卷之三

高度実践看護師教育課程																	
No.	区分	都道府県	大学院名	研究科名	専攻名				修士課程				博士課程				
					うち、養成人数		うち養成人数		学生受入年度〔保〕(助)		学生受入年度〔保〕(助)		がん看護		精神看護		
					学生受入年度	定員	学生受入年度	定員	入学年度	定員	入学年度	定員	老年看護	小児看護	母性看護	慢性看護	
1	国立	北海道	北海道大学大学院	保健科学院	保健科学専攻	H20	26	H26	6	H22	8		38		38	38	
2	国立	北海道	旭川医科大学大学院	医学系研究科	看護学専攻	H12	16			H19	12		※38		38	38	
3	国立	青森	弘前大学大学院	保健学研究科	保健学専攻	H17	30			H15	10		※38		38	38	
4	国立	宮城	東北大学大学院	医学系研究科	保健学専攻	H20	24	H26	6	H22	10		※38		38	38	
5	国立	秋田	秋田大学大学院	医学系研究科	保健学専攻	H19	12			H21	3		※38		38	38	
6	国立	山形	山形大学大学院	医学系研究科	看護学専攻	H9	16			H19	3		※38		38	38	
7	国立	茨城	筑波大学大学院	人間総合科学衛生人間総合科学研究群	看護科学学位プログラム	H19	15	H26	4	H21	8		※38		38	38	
8	国立	群馬	群馬大学大学院	保健学研究科	保健学専攻	H13	50			H15	10		※38		38	38	
9	国立	千葉	千葉大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	S54	37			H5	12		※38		38	38	
10	国立	東京	東京大学大学院	医学系研究科	健康科学・看護学専攻	S39	25	H26	10	5	S39	25		※38		38	38
11	国立	東京	東京科学大学大学院	保健衛生学研究科	看護先進科学専攻					H26	13		※38		38	38	
12	国立	新潟	新潟大学大学院	保健学研究科	保健学専攻	H16	20			H19	6		38		38	38	
13	国立	富山	富山大学大学院	総合医薬学研究科	総合医薬学専攻	R4	16			R4	3		※38		38	38	
14	国立	石川	金沢大学大学院	医薬保健学総合研究科	保健学専攻	H12	70	H25	6	H14	25		38		38	38	
15	国立	福井	福井大学大学院	医学系研究科	看護学専攻	H13	12			H11	14		38		38	38	
16	国立	山梨	山梨大学大学院	医工農学総合教育部	看護学専攻					H15	4						
17				ヒューマンヘルスケア専攻													
18	国立	長野	信州大学大学院	医学系研究科	保健学専攻	H19	20			H30	6						
19				総合理工学研究科	医学系専攻												
20	国立	岐阜	岐阜大学大学院	医学系研究科	看護学専攻	H17	8										
21	国立	静岡	浜松医科大学大学院	医学系研究科	看護学専攻	H11	16	H27	5	R4	3		38		38	38	
22	国立	愛知	名古屋大学大学院	医学系研究科	総合保健学専攻	R2	18			R2	6		※38		38	38	
23	国立	三重	三重大学大学院	医学系研究科	看護学専攻	H14	11			H28	3		※38		38	38	
24	国立	滋賀	滋賀医科大学大学院	医学系研究科	看護学専攻	H10	16			R6	3		38		38	38	
25	国立	京都	京都大学大学院	医学系研究科	人間健康科学系専攻	H19	49	H23	10	H21	15		※38		38	38	
26	国立	大阪	大阪大学大学院	医学系研究科	保健学専攻	H10	65	H30	12	H12	23		※38		38	38	
27	国立	兵庫	神戸大学大学院	保健学研究科	保健学専攻	H20	54	H28	5	H20	25		38		38	38	
28	国立	鳥取	鳥取大学大学院	医学系研究科	医学系専攻	H16	14			H20	4		38		38	38	
29	国立	島根	島根大学大学院	医学系研究科	看護学専攻	H15	12	H31	3	H28	2		※38		38	38	
30	国立	岡山	岡山大学大学院	保健学研究科	保健学専攻	H15	26	H24	8	H17	10		38		38	38	
31	国立	広島	広島大学大学院	医学系科学研究科	総合健康科学専攻	H8	34			H10	15						
32	国立	山口	山口大学大学院	医学系研究科	保健学専攻	H17	12			H19	5		※38		38	38	
33	国立	徳島	徳島大学大学院	保健科学研究科	保健学専攻	H18	27	H24	8	H20	5		※38		38	38	
34	国立	香川	香川大学大学院	医学系研究科	看護学専攻	H12	16	R2(保)	4	R4	2		38		38	38	
35	国立	愛媛	愛媛大学大学院	医学系研究科	看護学専攻	H10	10			R2	2		38		38	38	
36	国立	高知	高知大学大学院	総合人間自然科学研究科	看護学専攻	H14	12	H23	5				38		38	38	
37	国立	福岡	九州大学大学院	医学系学府	保健学専攻	H19	20	H27	7	H21	10		38		38	38	
38	国立	佐賀	佐賀大学大学院	先進健康科学研究科	保健学専攻	H9	16						38		38	38	
39	国立	長崎	長崎大学大学院	医歯薬学総合研究科	保健学専攻	H18	20	H24	6	8			38		38	38	
40	国立	熊本	熊本大学大学院	保健学教育部	保健学専攻	H20	16			H22	6		38		38	38	
41	国立	大分	大分大学大学院	医学系研究科	看護学専攻	H10	10						38		38	38	
42	国立	宮崎	宮崎大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H26	10						38		38	38	
43	国立	鹿児島	鹿児島大学大学院	保健学研究科	保健学専攻	H15	12	H26	7	H17	6		38		38	38	
44	公立	沖縄	琉球大学大学院	保健学研究科	保健学専攻	S61	10			H19	3		38		38	38	
45	公立	北海道	札幌市立大学大学院	保健医学研究科	看護学専攻	H10	12			H18	2		38		38	38	
46	公立	北海道	札幌市立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H22	18			H24	3		38		38	38	
47	公立	青森	青森県立保健大学大学院	健康科学専攻	保健学専攻	H15	20			H17	4		38		38	38	
48	公立	岩手	岩手県立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H14	15			H16	5		38		38	38	
49	公立	宮城	宮城大学大学院	看護学研究科	保健学専攻	H13	10			H22	3		38		38	38	
50	公立	山形	山形県立保健大学大学院	保健医学研究科	看護学専攻	H16	12			H29	3		38		38	38	
51	公立	福島	福島県立医科大学大学院	看護学研究科	保健学専攻	H14	15	R5	5	R4	2		38		38	38	
52	公立	茨城	茨城県立医科大学大学院	保健医学研究科	保健学専攻	H13	18			H22	5		38		38	38	
53	公立	群馬	群馬県立県民健康科学大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H21	8			H28	2		38		38	38	
54	公立	埼玉	埼玉県立大学大学院	保健医療福祉学専攻	保健医療福祉学専攻	H21	20			H27	6		38		38	38	
55	公立	東京	東京都立大学大学院	人間健康科学研究科	人間健康科学研究科	H18	50			H18	22		38		38	38	
56	公立	神奈川	神奈川県立保健福祉大学大学院	保健福祉学研究科	保健福祉学研究科	H19	20	R6	5	H20			38		38	38	
57	公立	神奈川	横浜市立大学大学院	医学研究科	看護学専攻	H22	25	R3	2	H30	6		38		38	38	
58	公立	新潟	新潟県立看護大学大学院	看護学研究科	看護学研究科	H18	15	R6	4	H30	3		38		38	38	
59	公立	富山	富山県立大学大学院	看護学研究科	看護学研究科	R5	10						38		38	38	
60	公立	石川	石川県立看護大学大学院	看護学研究科	看護学研究科	H16	15	H30	5	H18	3		38		38	38	
61	公立	福井	敦賀市立看護大学大学院	看護学研究科	看護学研究科	H30	8						38		38	38	

一般社団法人 日本看護系大学協議会 2024年度会員校(大学院一覧)

2024年10月時点

No.	区分	都道府県	大学院名	研究科名	専攻名	修士課程	高度実践看護師教育課程																		
							博士課程				専門職課程						うち養成人数								
							学生 受入 年度	入学 定員	受入 年度〔保〕〔助〕	入学 定員〔保〕〔助〕	学生 受入 年度	入学 定員	受入 年度〔保〕〔助〕	学生 受入 年度〔保〕〔助〕	精神 看護	地域 看護	老年 看護	小児 看護	母性 看護	慢性 看護	介護 看護	感染 看護	家族 看護	在宅 看護	遺伝 看護
62	公立	福井	福井県立大学大学院	看護福祉学研究科 健康生活科学研究科	看護学専攻 健康生活科学専攻	H15 10	R5 3	R3 3	R3 3	R3 3	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38
63				看護学研究科	看護学専攻	H17 10	H11 16	H11 16	H13 4	H13 4	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
64	公立	山梨	山梨県立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H16 12	H18 2	H18 2	H22 3	H22 3	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
65	公立	長野	長野県立看護大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H13 16	H21 21	H21 21	H21 4	H21 4	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
66	公立	岐阜	岐阜県立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H15 15	H15 24	H20 12	H17 5	H17 5	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
67	公立	静岡	静岡県立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H19 8	H31 4	H19 8	H30 3	H30 3	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
68	公立	愛知	愛知県立大学大学院	人間看護学研究科	人間看護学専攻	H19 8	H31 4	H19 8	H30 3	H30 3	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
69	公立	愛知	名古屋市立大学大学院	保健看護学研究科	保健看護学専攻	R4 50	R5 6	R4 10	R4 10	R4 10	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
70	公立	三重	三重県立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H16 25	H12 28	H28 8	H18 3	H18 3	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
71	公立	滋賀	滋賀県立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H24 10	H24 5	R6 2	H25 3	H25 3	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
72	公立	京都	京都府立医科大学大学院	保健看護学研究科	保健看護学専攻	H20 12	H17 5	H17 5	H17 4	H17 4	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
73	公立	大阪	大阪府立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H15 24	H20 12	H17 5	H17 5	H17 5	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
74	公立	兵庫	兵庫県立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H12 28	H28 8	H18 3	H18 3	H18 3	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
75	公立	兵庫	神戸市立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H24 10	H24 5	R6 2	H25 3	H25 3	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
76	公立	奈良	奈良県立医科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H20 12	H28 8	R2 2	H31 2	H31 2	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
77	公立	和歌山	和歌山県立医科大学大学院	保健看護学研究科	保健看護学専攻	H28 8	H28 8	H28 8	H28 8	H28 8	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
78	公立	島根	島根県立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H9 7	H25 7	H15 5	H15 5	H15 5	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
79	公立	岡山	岡山県立大学大学院	保健福祉学研究科	保健福祉学専攻	R5 4	R5 4	R5 2	R5 2	R5 2	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
80				健康科学研究科	健康科学専攻	H17 20	H11 10	H11 10	H18 3	H18 3	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38		
81	公立	岡山	新見公立大学大学院	総合学術研究科	保健福祉学専攻	H29 25	R4 10	H31 2	H31 2	H31 2	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
82	公立	広島	県立広島大学大学院	保健医学研究科	保健医学専攻	H26 5	H10 20	H13 6	H13 6	H13 6	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
83	公立	山口	山口県立大学大学院	保健医療技術大学大学院	保健医療技術大学大学院	H19 12	H27 5	H27 5	H27 5	H27 5	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
84	公立	香川	香川県立保健医療大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H20 12	H28 4	H16 2	H16 2	H16 2	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
85	公立	愛媛	愛媛県立医療技術大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H10 20	H10 20	H13 6	H13 6	H13 6	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
86	公立	高知	高知県立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H19 12	H27 5	H27 5	H27 5	H27 5	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
87	公立	福岡	福岡県立大学大学院	地域創生研究科	人間健康科学専攻	H20 12	H28 4	H16 2	H16 2	H16 2	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
88	公立	長崎	長崎県立大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H14 35	H23 10	H16 10	H16 10	H16 10	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
89	公立	大分	大分県立看護科学大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H13 12	R4 6	H17 2	H17 2	H17 2	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
90				看護学研究科	看護学専攻	H16 6	H23 6	R4 2	R4 2	R4 2	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
91	公立	宮崎	宮崎県立看護大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H16 6	H16 6	H16 2	H16 2	H16 2	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
92	公立	沖縄	沖縄県立看護大学大学院	保健看護学研究科	保健看護学専攻	H23 6	H23 6	H23 6	H23 6	H23 6	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	
93	公立	沖縄	名媛大学大学院	保健医療学研究科	保健医療学専攻	R5 5																			

一般社団法人 日本看護系大学協議会 2024年度会員校（大学院一覧）

卷之三

※38は、26単位から38単位へ移行した課程

一般社団法人 日本看護系大学協議会 2024年度会員校(大学院一覧)

卷之三

高度実践看護師教育課程																					
No.	区分	都道府県	大学院名	研究科名	専攻名	修士課程		博士課程		専門職課程		うち養成人数									
						学生受入年度〔保〕(助)	学生受入年度〔保〕(助)	学生受入年度〔保〕(助)	学生受入年度〔保〕(助)	がん看護	精神看護	地域看護	クリエイカルケア看護	慢性看護	母性看護	家族看護	災害看護	放射線看護	プライマリーケア看護		
						入学定員	入学定員	入学定員	入学定員	がん看護	精神看護	地域看護	クリエイカルケア看護	慢性看護	母性看護	家族看護	災害看護	放射線看護	プライマリーケア看護		
183	私立	大阪	藍野大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H26	8	H26	3	H26	38	38	38	38	38	38	38	38	
184	私立	大阪	大阪医科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H26	8	H26	3	H30	5	38	38	38	38	38	38	38	
185	私立	大阪	關西医科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H30	20	H30	5	H23	9								46
186	私立	大阪	關西医療大学大学院	保健医療学研究科	保健医療学専攻	H27	6	H23	9	H23	9	H28	6								
187	私立	大阪	提南大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H28	6	H28	6	H23	6	R4	2	R2	3	R2	3	R2	3
188	私立	大阪	森ノ宮医療大学大学院	保健医療学研究科	保健医療学専攻	H27	6	H23	6	H23	6	H23	6	R4	2	R2	3	R2	3	R2	3
189	私立	大阪	四天王寺大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	6	H23	6	H23	6	R4	2	R2	3	R2	3	R2	3
190	私立	大阪	千里金蘭大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	6	H23	6	H23	6	R5	12	R5	4	R5	4	R5	4
191	私立	大阪	大手前大学大学院	国際看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	6	H23	6	H25	7	R25	3	R25	3	R25	3	R25	3
192	私立	大阪	關西看護医療大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	6	H23	6	H27	6	R2	2	R2	2	R2	2	R2	2
193	私立	兵庫	關西國際大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	6	H23	6	H24	6	H29	3	H30	3	H31	3	H31	3
194	私立	兵庫	關西福祉大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	6	H23	6	H24	5	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
195	私立	兵庫	甲南女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	6	H23	6	H24	5	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
196	私立	兵庫	神戸女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	6	H23	6	H24	5	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
197	私立	兵庫	姫路大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	6	H23	6	H24	5	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
198	私立	兵庫	兵庫医科大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	6	H23	6	H24	5	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
199	私立	兵庫	武庫川女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H24	6	H29	3	H30	3	H31	3	H31	3
200	私立	兵庫	兵庫大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H24	6	H29	3	H30	3	H31	3	H31	3
201	私立	兵庫	畿央大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H24	6	H29	3	H30	3	H31	3	H31	3
202	私立	奈良	奈良医学園大学大学院	健康科学研究科	健康科学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H24	6	H29	3	H30	3	H31	3	H31	3
203	私立	奈良	東京医療保健大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H24	6	H29	3	H30	3	H31	3	H31	3
204	私立	和歌山	吉備国際大学大学院	和歌山看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H24	6	H29	3	H30	3	H31	3	H31	3
205	私立	鳥取	鳥取看護大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H24	6	H29	3	H30	3	H31	3	H31	3
206	私立	岡山	川崎医療福祉大学大学院	医療福祉学研究科	保健看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H24	6	H29	3	H30	3	H31	3	H31	3
207	私立	岡山	吉備国際大学大学院	保健科学研究科	保健科学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H25	6	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
208	私立	岡山	山陽学園大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H25	6	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
209	私立	広島	日本赤十字広島看護大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H25	6	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
210	私立	広島	広島国際大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H25	6	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
211	私立	広島	広島都市学園大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H25	6	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
212	私立	広島	広島文化学園大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H25	6	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
213	私立	広島	福山平成大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H25	6	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
214	私立	広島	安田女子大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H25	6	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
215	私立	広島	四国大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H25	8	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
216	私立	徳島	徳島文理大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H26	7	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
217	私立	徳島	聖カタリナ大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H26	7	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
218	私立	愛媛	人間環境大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H26	7	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
219	私立	愛媛	久留米大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H26	7	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
220	私立	福岡	日本赤十字九州国際看護大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H26	7	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
221	私立	福岡	産業医科大学大学院	看護学研究科	社会医学系専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H26	5	H30	3	H31	3	H31	3	H31	3
222	私立	福岡	純真学園大学大学院	看護学研究科	看護学専攻	H27	6	H23	8	H23	8	H26	5	H30	6	H31	3	H31	3	H31	3
223	私立	福岡	聖マリア学院大学大学院	看護学研究科	保健医療学研究科	H27	6	H23	8	H23	8	H26	5	H30	6	H31	3	H31	3	H31	3
224	私立	福岡	帝京大学大学院	看護学研究科	保健医療学研究科	H27	6	H23	8	H23	8	H26	5	H30	6	H31	3	H31	3	H31	3
225	私立	福岡	福岡女学院看護大学大学院	看護学研究科	保健医療学研究科	H27	6	H23	8	H23	8	H26	5	H30	6	H31	3	H31	3	H31	3
226	私立	福岡	西九州大学大学院	生活支援科学研究科	看護学研究科	H27	6	H23	8	H23	8	H26	5	H30	6	H31	3	H31	3	H31	3
227	私立	福岡	九州看護福祉大学大学院	看護学研究科	看護学研究科	H27	6	H23	8	H23	8	H26	5	H30	6	H31	3	H31	3	H31	3
228	私立	福岡	熊本保健科学大学大学院	看護学研究科	看護学研究科	H27	6	H23	8	H23	8	H26	5	H30	6	H31	3	H31	3	H31	3
229	私立	福岡	西九州大学大学院	看護学研究科	看護学研究科	H27	6	H23	8	H23	8	H26	5	H30	6	H31	3	H31	3	H31	3
230	私立	福岡	福岡看護大学大学院	看護学研究科	看護学研究科	H27	6	H23	8	H23	8	H26	5	H30	6	H31	3	H31	3	H31	3
231	私立	福岡	福岡国際医療福祉大学大学院	看護学研究科	保健医療学研究科	H27	6	H23	8	H23	8	H26	5	H30	6	H31	3	H31	3	H31	3
232	私立	福岡	福岡女学院看護大学大学院	看護学研究科	看護学研究科	H27	6	H23	8	H23	8	H26	5	H30	6	H31	3	H31	3	H31	3
233	私立	福岡	西九州大学大学院	生活支援科学研究科	看護学研究科	H27	6</td														

第十一章

公立大学法人滋賀県立大学における授業料その他の料金に関する規程

平成 18 年 4 月 1 日
公立大学法人滋賀県立大学規程第 58 号

(趣旨)

第 1 条 公立大学法人滋賀県立大学（以下「法人」という。）における授業料その他の料金（以下「料金等」という。）は、別に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(授業料、入学料および入学検定料の額)

第 2 条 法人において徴収する授業料、入学料および入学検定料の額は、別表 1 のとおりとする。

- 2 学年の中途において入学し、卒業し、もしくは修了し、退学し、または転学した者（科目等履修生、特別聴講学生、研究生および研修員を除く。）の授業料は、その事実が生じた月を含め月割によって計算して得た額とし、休学の許可を受けた者で全く出席しない月があるときは、その者に対する授業料は、その月につき月割によって計算した額を控除して得た額とする。
- 3 大学院修士課程に在学する者のうち、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを認められた者から徴収する授業料の年額は、当該履修を認められた期間（以下「長期履修期間」という。）に限り、第 1 項の規定にかかわらず、標準修業年限に相当する授業料の総額に 2 を乗じたものを長期履修期間の学期数で除して得た額（10 円に満たない端数があるときは、これを切り上げた額）とする。

(手数料)

第 3 条 法人において徴収する証明書交付手数料および学位論文審査手数料は、別表 2（在学者以外）および別表 3（在学者）のとおりとする。

(留学生宿舎使用料)

第 4 条 法人において徴収する留学生宿舎使用料は、別表 4 のとおりとする。

(入学料の免除)

第 5 条 滋賀県立大学の学部を卒業し、入学を許可された者の学部に係る入学料および滋賀県立大学の大学院の課程を修了し、入学を許可された者の大学院に係る入学料は、免除する。

(減免)

第 6 条 理事長は、特別の事情があると認める者に対しては、料金等を減免することができる。

付 則

- 1 この規程は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 平成 11 年 4 月 1 日前に入学し、入学の日以後引き続き在学する者に係る授業料の額については、なお、従前の例による。

付 則

この規程は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

付 則

この規程は、平成 26 年 1 月 1 日から施行する。

付 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

付 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する

付 則

この規程は、令和6年4月1日から施行する

別表1 授業料、入学料および入学検定料の額

授業料	学部	通常の課程	1人につき	年額 535,800円
		科目等履修生および特別聴講学生	同	1単位 14,800円
		研究生	同	月額 29,700円
		研修員（官公庁、学校）	同	同 34,400円
		研修員（その他の機関）	同	同 43,000円
	大学院	通常の課程	1人につき	年額 535,800円
	科目等履修生および特別聴講学生	同	1単位 14,800円	
	研究生	同	月額 29,700円	
	研修員（官公庁、学校）	同	同 34,400円	
	研修員（その他の機関）	同	同 43,000円	
入学料	学部	通常の課程（県内に住所を有する者）	1人につき	282,000円
		通常の課程（その他の者）	同	423,000円
		科目等履修生（県内に住所を有する者）	1人につき	28,200円
		科目等履修生（その他の者）	同	42,300円
		研究生（県内に住所を有する者）	1人につき	84,600円
		研究生（その他の者）	同	126,900円
	大学院	通常の課程（県内に住所を有する者）	1人につき	282,000円
		通常の課程（その他の者）	同	423,000円
		科目等履修生（県内に住所を有する者）	1人につき	28,200円
		科目等履修生（その他の者）	同	42,300円
		研究生（県内に住所を有する者）	1人につき	84,600円
		研究生（その他の者）	同	126,900円
入 学 検 定 料	学部	通常の課程（学部）	1人につき	17,000円
		科目等履修生および研究生	同	9,800円
	大学院	通常の課程（学部）	1人につき	30,000円
		科目等履修生および研究生	同	9,800円

別表2 証明書交付手数料および学位論文審査手数料（在学者以外）

卒業証明書交付手数料	1通につき	470円
成績証明書交付手数料	1通につき	470円
単位修得証明書交付手数料	1通につき	470円
修了証明書交付手数料	1通につき	470円
その他の証明書に係る交付手数料	1通につき	470円
卒業または修了時に発行する卒業証明書、修了証明書および成績証明書交付手数料（ただし、和文に限る。）	各1通に限り	無償
学位論文審査手数料	1件	57,000円

別表3 証明書交付手数料および学位論文審査手数料（在学者）

修了見込証明書交付手数料（ただし、和文に限る。）	1通につき	無償
成績証明書交付手数料（ただし、和文に限る。）	1通につき	無償
在学証明書交付手数料（ただし、和文に限る。）	1通につき	無償
証明書自動発行システムによる証明書交付手数料	1通につき	無償
証明書自動発行システムによらない証明書交付手数料	1通につき	200円
学位論文審査手数料	1件	無償

別表4 留学生寄宿舎使用料

留学生宿舎使用料（和田宿舎の1号室から8号室）	1人につき	月額 4,500円
留学生宿舎使用料（和田宿舎の上記以外の居室）	1人につき	月額 9,500円

滋賀県内や近隣府県の看護職および看護師養成に関わる教員のニーズ調査結果

1. 調査概要

調査目的	令和7年4月に予定している滋賀県立大学大学院人間看護学研究科博士後期課程（仮称）（以下、本研究科博士後期課程）の開設に向けて、滋賀県内や近隣府県の看護職および看護師養成に関わる教員の進学希望や求める制度などを明らかにすることを目的とする。
調査対象者	本研究科博士後期課程への入学の可能性が最も高い滋賀県内を中心に、通学が現実的であると考えられる近隣府県における、本学人間看護学部の実習機関・医療機関・看護師養成に携わる教育機関（合計74施設）に勤務する看護職および教員 【内訳】 <ul style="list-style-type: none">・滋賀県内・近隣府県の実習機関・医療機関 33施設・滋賀県内の自治体(保健所等の健康福祉関連部署) 26施設・滋賀県内・近隣県の看護系大学院 5施設・滋賀県内・近隣県の看護専門学校 10施設
調査方法	Microsoft Formsによるウェブアンケート（無記名） 【依頼方法】 機関あてにアンケート調査票および本研究科博士後期課程構想案を郵送し、機関内での共有・配布を依頼した。
調査実施期間	令和5年6月～7月
回答者数	102人（各機関に配布を依頼したため、配布枚数は不明）

※「割合(%)」は、いずれも小数第二位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

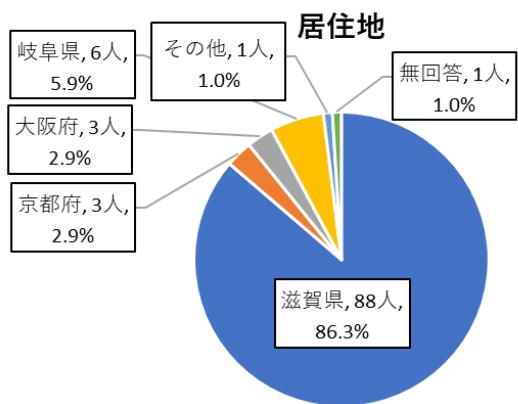
2. 調査結果

問1. 居住地について

回答者の居住地は、「滋賀県」88人(86.3%)が最も多く、「岐阜県」6人(5.9%)、「京都府」および「大阪府」が各3人(2.9%)と続いている。本学が位置する滋賀県が9割近くを占めているが、これは本研究科博士後期課程への入学の可能性が最も高い滋賀県内を中心として調査を行ったためであり、適切な回答が得られたと考えられる。

	人数	割合(%)
滋賀県	88	86.3
京都府	3	2.9
大阪府	3	2.9
岐阜県	6	5.9
その他	1	1.0
無回答	1	1.0
合計	102	100

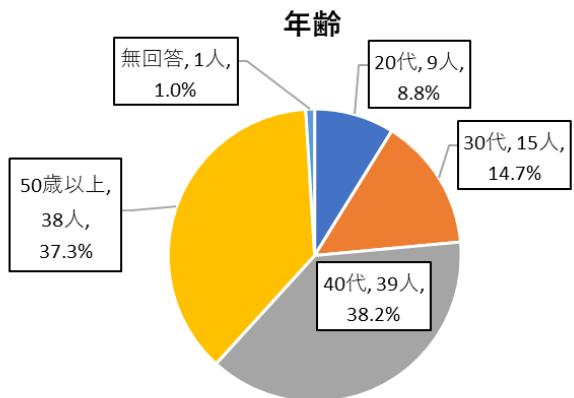
【その他の記載】
・福井県 1人



問2. 年齢について

回答者の年齢は、「40代」39人(38.2%)が最も多く、「50歳以上」38人(37.3%)、「30代」15人(14.7%)、「20代」9人(8.8%)と続いている。

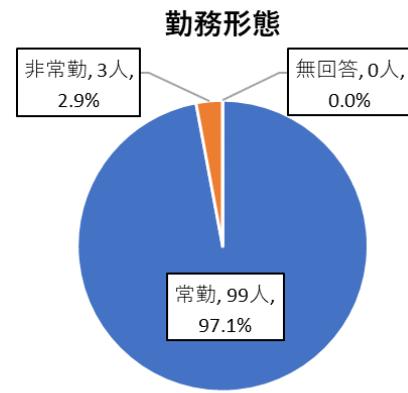
	人数	割合(%)
20代	9	8.8
30代	15	14.7
40代	39	38.2
50歳以上	38	37.3
無回答	1	1.0
合計	102	100



問3. 勤務形態について

回答者の勤務形態は、「常勤」99人(97.1%)が最も多く、「非常勤」3人(2.9%)となっている。

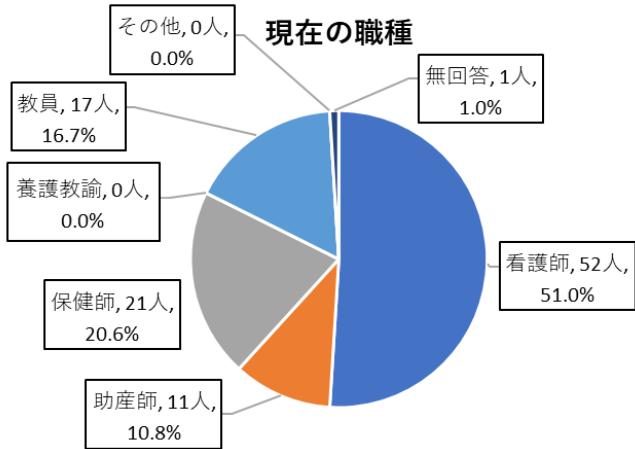
	人数	割合(%)
常勤	99	97.1
非常勤	3	2.9
無回答	0	0.0
合計	102	100



問4. 現在の職種について

回答者の現在の職種は、「看護師」52人(51.0%)が最も多く、「保健師」21人(20.6%)、「教員」17人(16.7%)、「助産師」11人(10.8%)と続いている。

	人数	割合(%)
看護師	52	51.0
助産師	11	10.8
保健師	21	20.6
養護教諭	0	0.0
教員	17	16.7
その他	0	0.0
無回答	1	1.0
合計	102	100



問5. 現在の職位について

回答者の現在の職位は自由記述としており、下表のとおりであった。

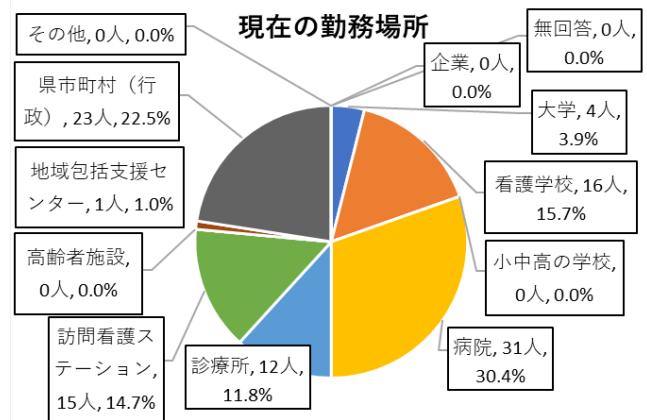
	人数	割合 (%)
教授	1	1.0
助教	1	1.0
助手	1	1.0
専任教員・専任教師	3	2.9
教務主任	3	2.9
学年リーダー	1	1.0
看護部長	1	1.0
副看護部長・看護副部長	4	3.9
看護科長	2	2.0
看護課長	1	1.0
病棟師長	1	1.0
看護師長	4	3.9
副看護師長	2	2.0
看護主任	1	1.0
主任看護師	2	2.0
看護師	2	2.0
主任保健師	1	1.0
保健師	3	2.9

助産師	1	1.0
統括所長	1	1.0
事業所管理者	1	1.0
管理者	3	2.9
課長補佐	2	2.0
係長	6	5.9
主任	6	5.9
主幹	2	2.0
副主幹	1	1.0
主査	3	2.9
副主査	4	3.9
専門員	1	1.0
係員	1	1.0
一般・職員	3	2.9
スタッフ	5	4.9
正社員	1	1.0
なし	5	4.9
無回答	22	21.6
合計	102	100

問6. 現在の勤務場所について

回答者の現在の勤務場所は、「病院」31人(30.4%)が最も多く、「県市町村(行政)」23人(22.5%)、「看護学校」16人(15.7%)、「訪問看護ステーション」15人(14.7%)、「診療所」12人(11.8%)と続いている。

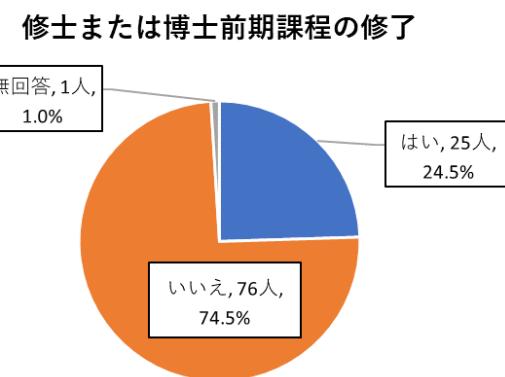
	人数	割合(%)
大学	4	3.9
看護学校	16	15.7
小中高の学校	0	0.0
病院	31	30.4
診療所	12	11.8
訪問看護ステーション	15	14.7
高齢者施設	0	0.0
地域包括支援センター	1	1.0
県市町村(行政)	23	22.5
企業	0	0.0
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	102	100



問7 1) 修士または博士前期課程を修了しているか

修士または博士前期課程を修了しているか尋ねたところ、「いいえ」76人(74.5%)が最も多く、「はい」25人(24.5%)と続いている。

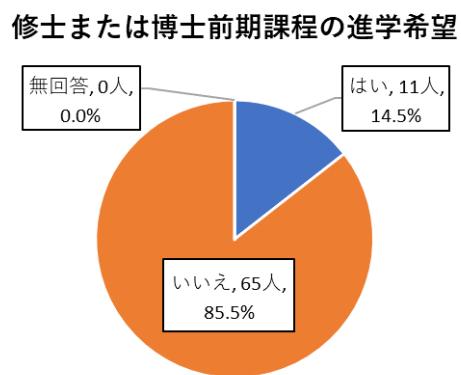
	人数	割合(%)
はい	25	24.5
いいえ	76	74.5
無回答	1	1.0
合計	102	100



問7 2) 修士または博士前期課程の進学を希望しているか

問7 1) で「いいえ」を選択した回答者に対して、修士または博士前期課程の進学を希望するか尋ねたところ、「いいえ」が65人(85.5%)、「はい」が11人(14.5%)となった。博士後期課程だけでなく、博士前期課程についてもあわせて本研究科の特色や魅力を周知することで、将来的な入学希望者につながると考えられる。

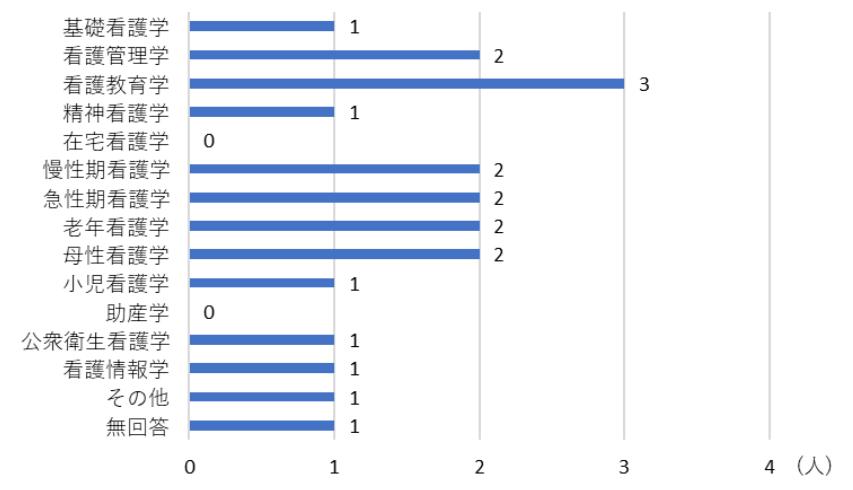
	人数	割合(%)
はい	11	14.5
いいえ	65	85.5
無回答	0	0.0
合計	76	100.0



問7 3) 希望する研究分野について (複数回答可)

問7 2) で「はい」を選択した回答者に対して、希望する研究分野を尋ねたところ、「看護教育学」3人が最も多くなっている。

	人数
基礎看護学	1
看護管理学	2
看護教育学	3
精神看護学	1
在宅看護学	0
慢性期看護学	2
急性期看護学	2
老年看護学	2
母性看護学	2
小児看護学	1
助産学	0
公衆衛生看護学	1
看護情報学	1
その他	1
無回答	1
合計	20

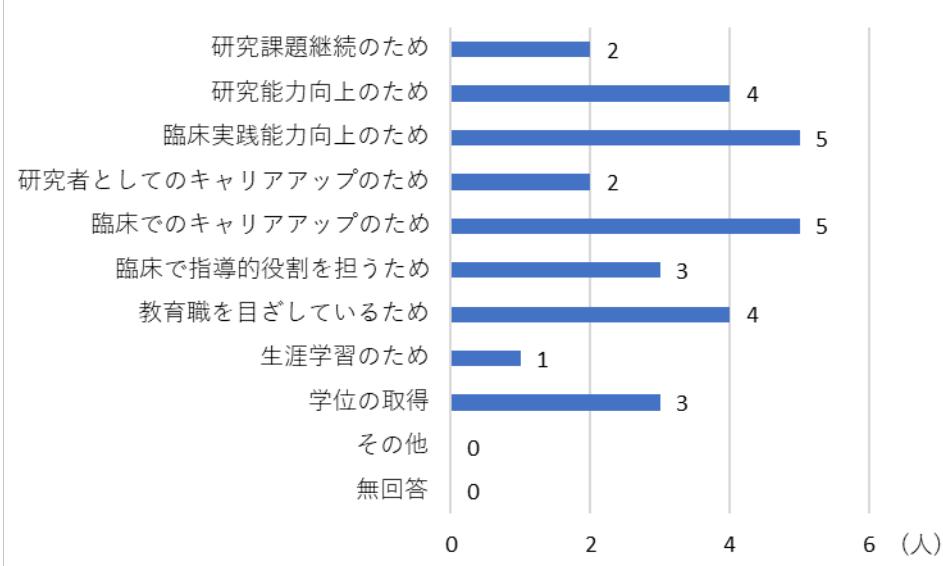


【その他の記載】 · 災害 1人

問7 4) 進学希望理由について (複数回答可)

問7 2) で「はい」を選択した回答者に対して、進学希望理由を尋ねたところ、「臨床実践能力向上のため」および「臨床でのキャリアアップのため」が各5人と最も多く、「研究能力向上のため」および「教育職を目指しているため」が各4人と続いている。

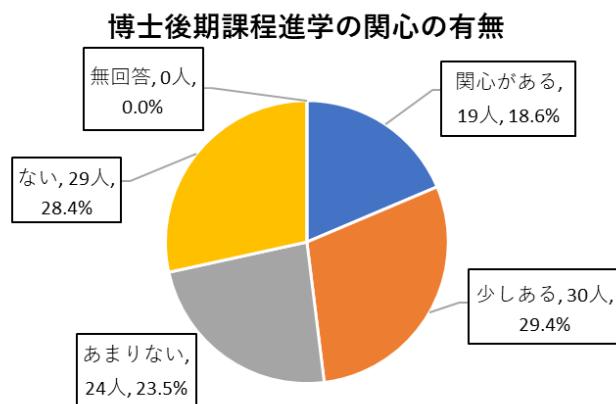
	人数
研究課題継続のため	2
研究能力向上のため	4
臨床実践能力向上のため	5
研究者としてのキャリアアップのため	2
臨床でのキャリアアップのため	5
臨床で指導的役割を担うため	3
教育職を目指しているため	4
生涯学習のため	1
学位の取得	3
その他	0
無回答	0
合計	29



問8. 博士後期課程進学の関心の有無について

博士後期課程への進学に関心があるか尋ねたところ、「少しある」30人(29.4%)が最も多く、「ない」29人(28.4%)、「あまりない」24人(23.5%)、「関心がある」19人(18.6%)となった。「関心がある」と「少しある」を合計すると、5割近くの回答者は博士後期課程進学に対して何らかの関心があることが分かった。

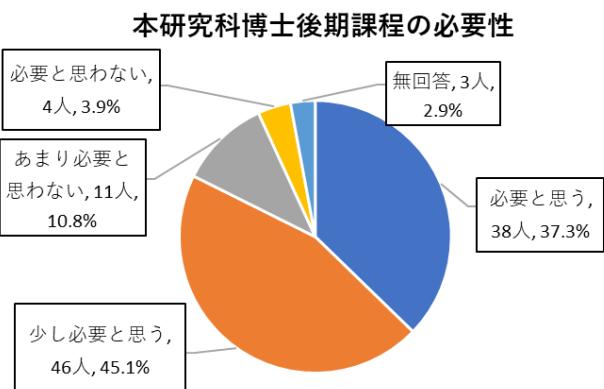
	人数	割合(%)
関心がある	19	18.6
少しある	30	29.4
あまりない	24	23.5
ない	29	28.4
無回答	0	0.0
合計	102	100



問9. 本研究科博士後期課程の必要性について

本研究科博士後期課程は必要と思うか尋ねたところ、「少し必要と思う」46人(45.1%)が最も多く、「必要と思う」38人(37.3%)、「あまり必要と思わない」11人(10.8%)、「必要と思わない」4人(3.9%)と続いている。「必要と思う」と「少し必要と思う」を合計すると、8割以上の回答者が本研究科博士後期課程の必要性を感じており、開設へのニーズが極めて高いことが明確になった。

	人数	割合(%)
必要と思う	38	37.3
少し必要と思う	46	45.1
あまり必要と思わない	11	10.8
必要と思わない	4	3.9
無回答	3	2.9
合計	102	100

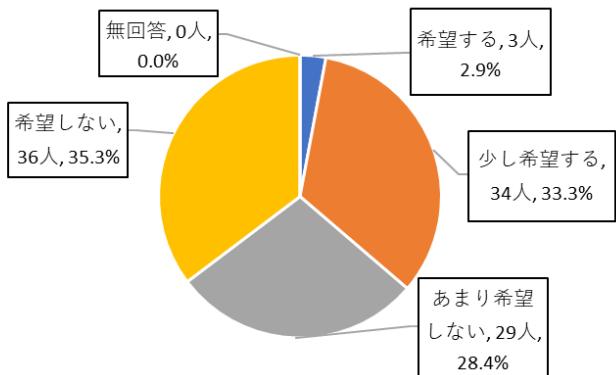


問 10. 本研究科博士後期課程への進学希望(将来的な希望含む)について

本研究科博士後期課程が開設された場合に進学を希望するか、将来も含めて尋ねたところ、「希望しない」36人(35.3%)、「少し希望する」34人(33.3%)、「あまり希望しない」29人(28.4%)、「希望する」3人(2.9%)となった。明確な進学意思を表した「希望する」3人は入学定員(2人)の1.5倍であるが、将来的な進学に前向きであると考えられる「少し希望する」34人を合わせると37人で、入学定員の18.5倍となり、入学定員を超える進学希望があることが確認できた。また、将来も含めた進学希望を尋ねているため、今後の状況により博士後期課程への進学の必要が生じた時や進学の条件が整った時には希望するという回答者を考慮すると、長期的に入学希望者がいると見込まれる。

	人数	割合(%)
希望する	3	2.9
少し希望する	34	33.3
あまり希望しない	29	28.4
希望しない	36	35.3
無回答	0	0.0
合計	102	100

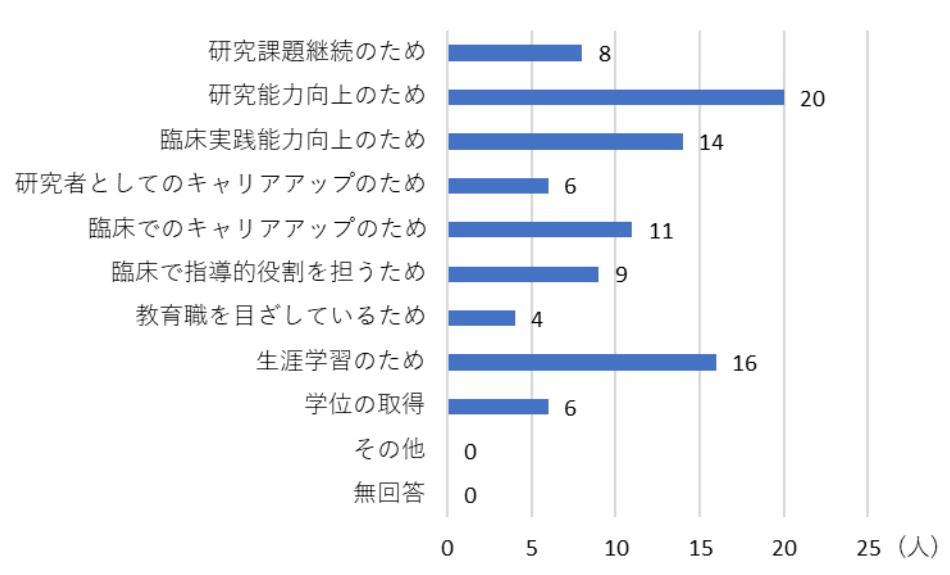
本研究科博士後期課程への進学希望



問 11-1. 本研究科博士後期課程へ進学を希望する理由について (複数回答可)

問 10 で「希望する」「少し希望する」を選択した回答者に対して、進学を希望する理由を尋ねたところ、「研究能力向上のため」20人が最も多く、「生涯学習のため」16人、「臨床実践能力向上のため」14人、「臨床でのキャリアアップのため」11人、「臨床で指導的役割を担うため」が9人、「研究課題継続のため」8人と続いている。これにより、本研究科博士後期課程への進学は、看護職や教員としての能力の向上、キャリアアップ、成長といった自身の目標に到達するための手段と位置づけられているものと考えられる。

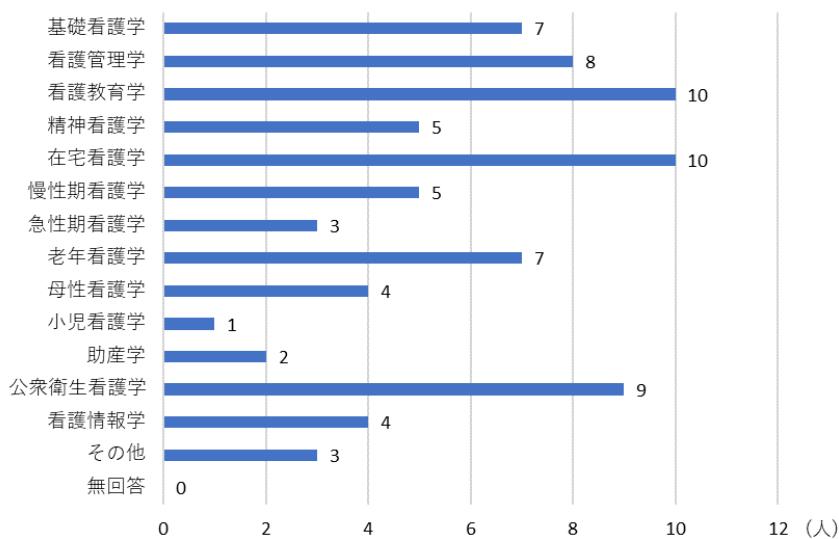
	人数
研究課題継続のため	8
研究能力向上のため	20
臨床実践能力向上のため	14
研究者としてのキャリアアップのため	6
臨床でのキャリアアップのため	11
臨床で指導的役割を担うため	9
教育職を目指しているため	4
生涯学習のため	16
学位の取得	6
その他	0
無回答	0
合計	94



問 11-2. 希望する研究分野について (複数回答可)

問 10 で「希望する」「少し希望する」を選択した回答者に対して、希望する研究分野を尋ねたところ、「看護教育学」および「在宅看護学」が各 10 人で最も多く、「公衆衛生看護学」9 人、「看護管理学」8 人、「基礎看護学」および「老年看護学」7 人と続いている。

	人数
基礎看護学	7
看護管理学	8
看護教育学	10
精神看護学	5
在宅看護学	10
慢性期看護学	5
急性期看護学	3
老年看護学	7
母性看護学	4
小児看護学	1
助産学	2
公衆衛生看護学	9
看護情報学	4
その他	3
無回答	0
合計	78



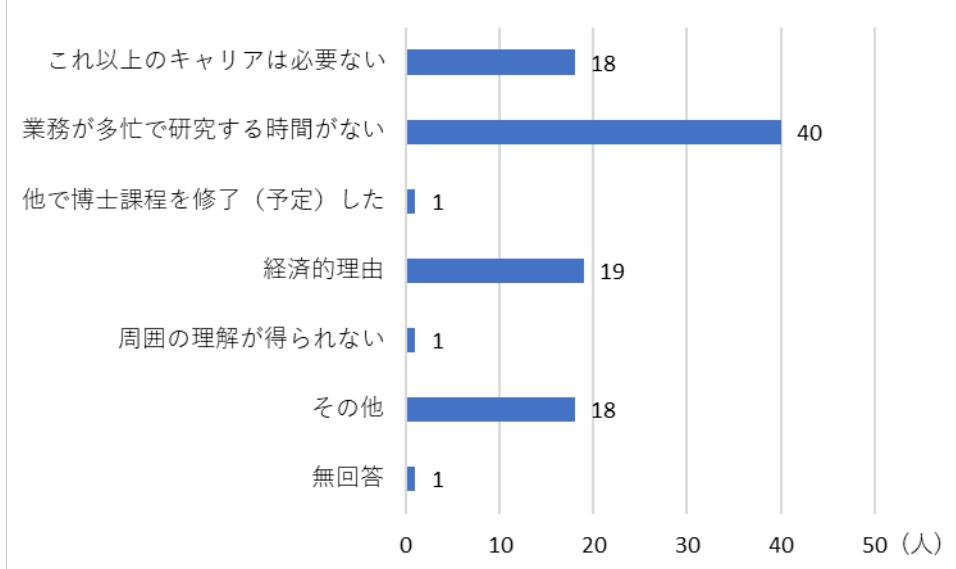
【他の記載】 ・がん看護 1 人 ・家族看護学 1 人 ・看護生涯発達学 1 人

問 11-3. 本研究科博士後期課程へ進学を希望しない理由について (複数回答可)

問 10 で「あまり希望しない」「希望しない」を選択した回答者に対して、進学を希望しない理由を尋ねたところ、「業務が多忙で研究する時間がない」40 人が最も多く、「経済的理由」19 人、「これ以上のキャリアは必要ない」および「その他」が各 18 人と続いている。

「業務が多忙で研究する時間がない」に関しては在職のまま学ぶことができる制度を、「経済的理由」に関しては学費の負担を軽減する制度の必要性を示唆していると考えられる。これら制度を整備し、懸念を払拭することにより、本研究科博士後期課程への入学希望者がさらに増える可能性がある。

	人数
これ以上のキャリアは必要ない	18
業務が多忙で研究する時間がない	40
他で博士課程を修了（予定）した	1
経済的理由	19
周囲の理解が得られない	1
その他	18
無回答	1
合計	98

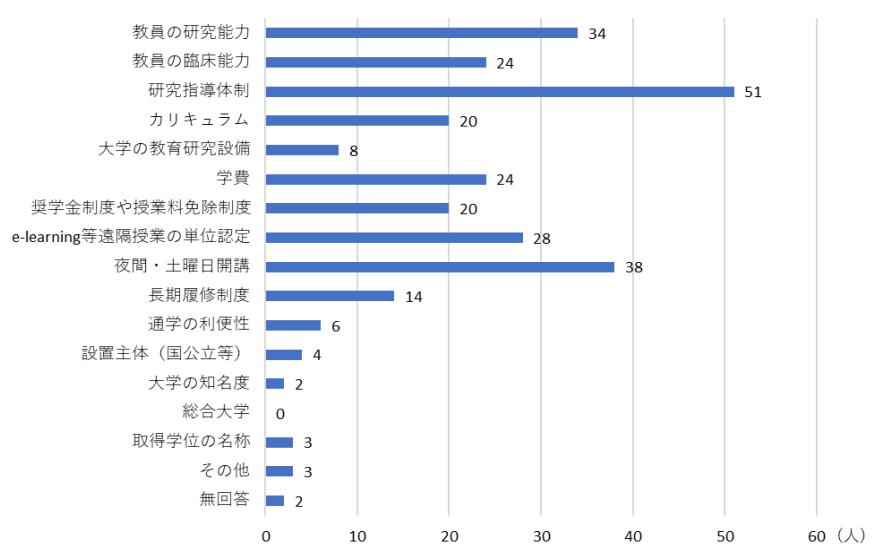


【その他の記載(抜粋)】 ・年齢の問題 3 人 ・家庭との両立の問題 3 人 など

問 12. 本研究科博士後期課程開設にあたって期待することについて
(優先度の高いものを 3つまで回答)

本研究科博士後期課程開設にあたって期待することについて尋ねたところ、「研究指導体制」51人が最も多く、「夜間・土曜日開講」38人、「教員の研究能力」34人、「e-learning等遠隔授業の単位認定」28人、「教員の臨床能力」および「学費」が各24人、「カリキュラム」および「奨学金制度や授業料免除制度」が各20人、「長期履修制度」14人と続いている。これにより、本研究科博士後期課程開設にあたっては、研究指導体制に加え、在職したまま学ぶための制度や学費の負担を軽減するための制度を求める意見が多いことが分かった。「夜間・土曜日開講」や「長期履修制度」等は現行の本研究科修士課程において導入している制度であり、博士後期課程の開設にあたっても同様の制度を整備する必要があることが確認できた。また、学費に関しては本学においてすでに博士後期課程奨学金制度があり、これらを広く周知することで入学希望につながると考えている。

	人数
教員の研究能力	34
教員の臨床能力	24
研究指導体制	51
カリキュラム	20
大学の教育研究設備	8
学費	24
奨学金制度や授業料免除制度	20
e-learning 等遠隔授業の単位認定	28
夜間・土曜日開講	38
長期履修制度	14
通学の利便性	6
設置主体(国公立等)	4
大学の知名度	2
総合大学	0
取得学位の名称	3
その他	3
無回答	2
合計	281



【その他の記載】 • 分からない 3人

問13. 本研究科博士後期課程開設に関する意見や要望について

(抜粋)

- ・私自身は、進学希望はないが、看護学の発展のために、是非とも博士の後期課程の開設を要望します。
- ・地域とコミットした研究など取り組んで頂けると、行政、地域、教育機関の連携が図れるのではと期待している。
- ・自分は年齢的に迷うところはあるが、博士課程には大変興味はありました。受けやすく、学習しやすい環境を整えて頂き、滋賀県の看護学の発展を期待します。
- ・進学したくても、通学や経済的理由などの研究活動以外の理由で諦めてしまっている。滋賀県に根付いた看護の発展、滋賀県の地域看護構想を推進する人材を育てるためにも必要。
- ・このような地域調査をしてくださっていることに、地域への重視・貢献意識を感じ、ひとりの看護実践家としてありがとうございます。そしてもし開設される場合も、地域と看護実践にフォーカスされる後期課程であってほしいと感じています。さらに相反する意見になるかもしれません、修士課程やCN/CNSコースの充実こそ個人的に期待していることを、申し添えさせていただきます。
- ・滋賀県看護師の奨学金制度を前期課程から博士課程まで可能にして頂けるとより、入学しやすいです。よろしくお願いします。
- ・滋賀県の看護の発展のために、必要と考えます。
- ・看護職にとって学び続ける事は大切であり、それらの学びを他の看護職に伝える事でモチベーションを上げる。また、新たな発見、課題、問題解決能力の向上にもつながります。是非、門戸を広く学ぶ環境を整えて頂きたいです。
- ・内容にはすごく興味があるが、認知度が低い。3年課程で授業料も3年通すと高額なため、認知度が高まり、様々な職場（一般病院）で取得後に手当等がつけば受講してみたいと思う
- ・頭でっかちでなく現場を大切にして欲しい
- ・DNPコースがあればぜひ入学検討したいです
- ・臨床看護師が学びやすい環境（時間帯や期間など）や、臨床現場の管理者にも博士課程の必要性が伝わり、施設内からも行きやすい推薦枠などあればと思います。
- ・大学以外のサテライト等で学習に使用できる場所があればありがたいです。